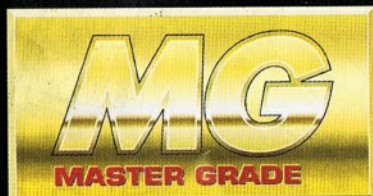




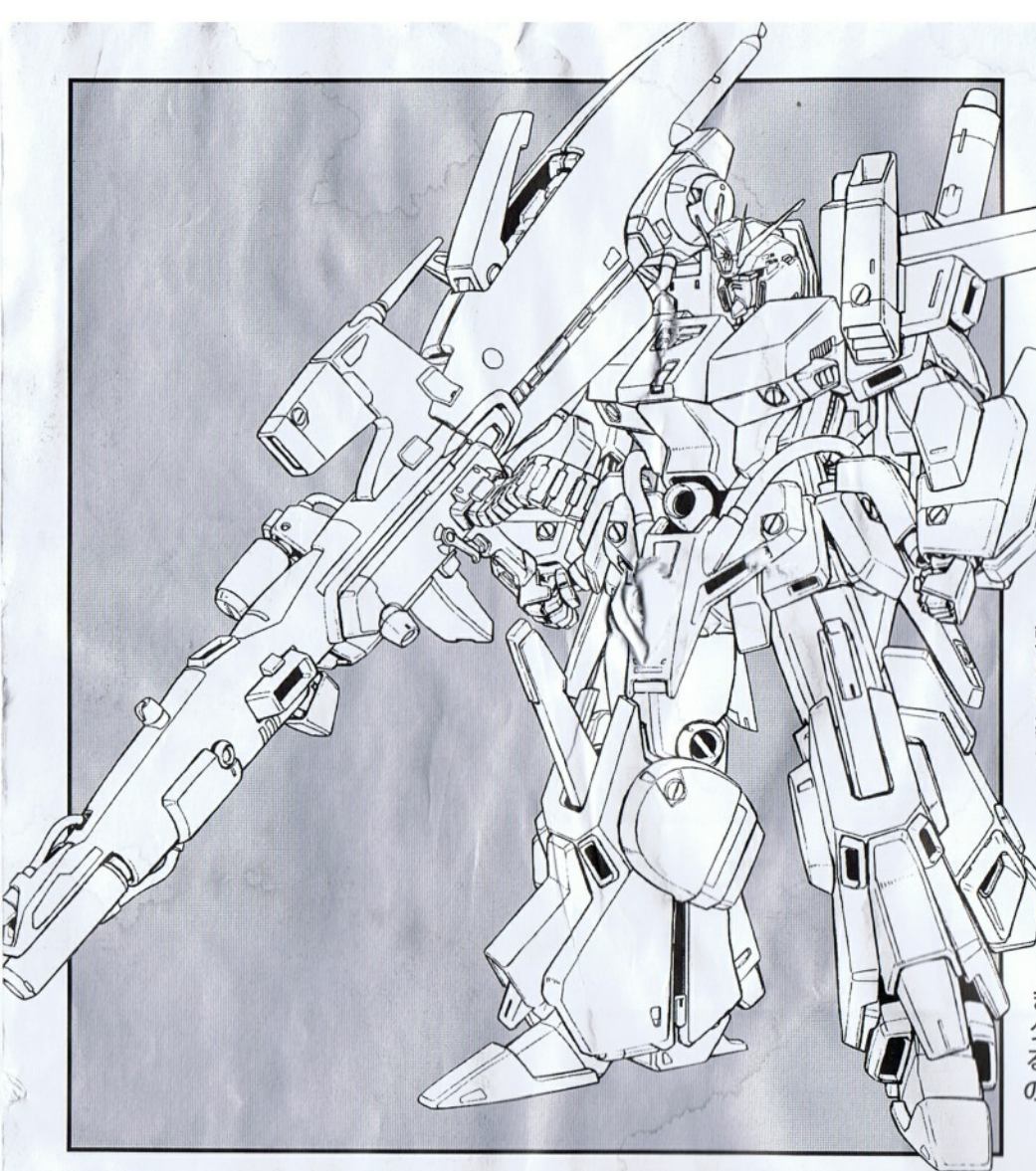
MOBILE SUIT
FA-010-A

FAZZ

E.F.S.F. PROTOTYPE
MOBILE SUIT



地球連邦軍
試作モビルスーツ
FA-010-A「ファッツ」
1/100 スケール マスターグレードモデル



中のFA化用パーツの試作品が装備されることとなる。こうして実戦投入に向けて短期間で急造されたのがFAZZと呼ばれるMSである。

FAZZとは関係者やパイロットが便宜的に与えたニックネームであり、AEや連邦軍によって与えられた正式名称ではなく、型式番号も建造後に便宜的に付けられたものである。

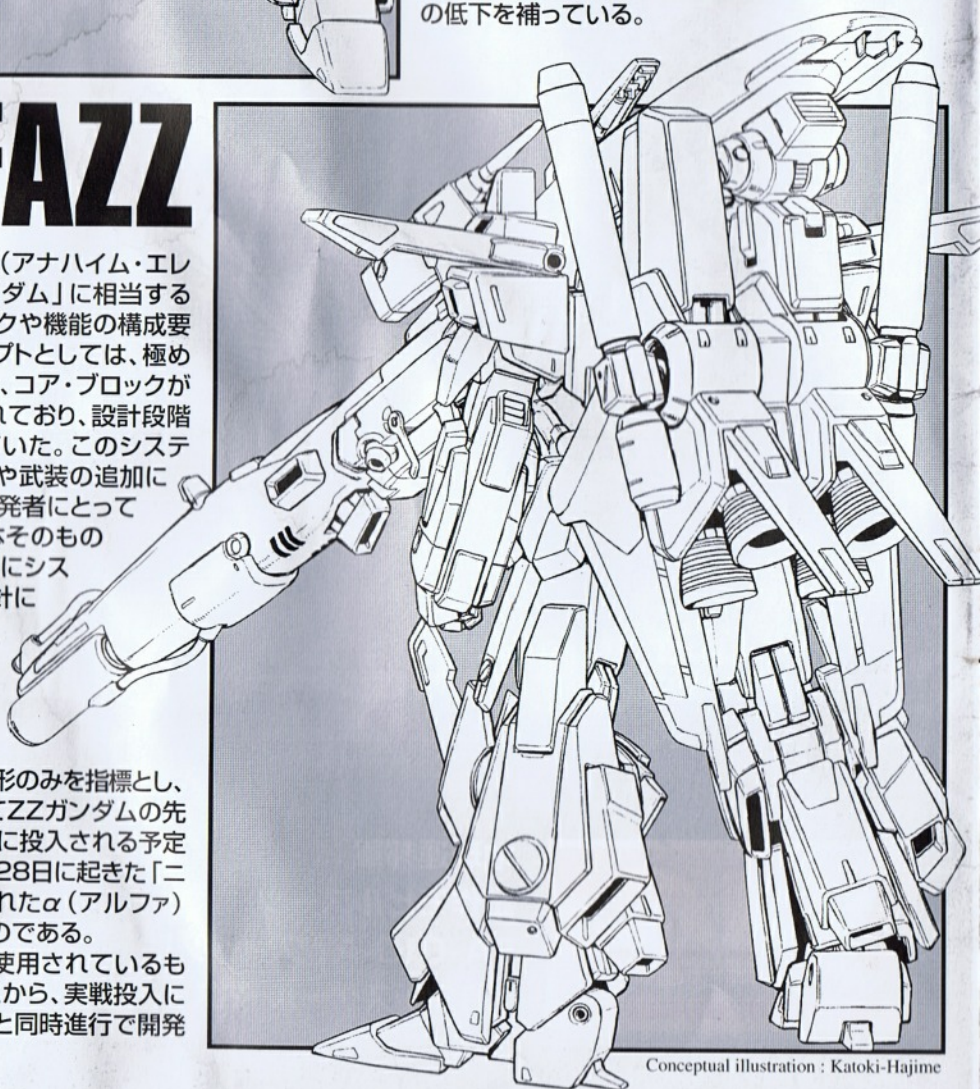
FAZZは、フルアーマー状態での機体性能のみを試験するのが目的の試作機と、ZZガンダムのMS時の機体性能を試験する目的の試作機を母体とするものの2系統が存在するが、両者とも機体の外観やスペックはどちらも同じである。

内部フレームはZZガンダムのMS形態時のみを再現した汎用フレームが使用されており、Gフォートレスなどへの変形は不可能である。また、頭部のハイメガキャノンはバランスを調べるためにダミーが設置されているだけで、腹部のものも同様である。増加装甲パーツは全て固定され、基本的に着脱はできないとされているが、メンテナンスやZZガンダムの改装などへの対応を想定し、別工程により除去が可能な機体もあったとも言われている。それ以外のスペックは、フルアーマー時のZZガンダムとほぼ同等である。特に、バックパックに直結する巨大なハイパー・メガ・キャノンは、同部隊のSガンダムのビーム・スマートガンよりも強力で、当時のMSが単体で携行できるビーム砲としては最高出力を誇る。また、各部増加パーツ群には、胸部、肩部のマイクロ・ミサイルランチャーなどの重武装が施されると同時に、スラスターなども増設され、機動性の低下を補っている。

FA-010-A FAZZ

U.C.0088年。「Zプロジェクト」に基づいてAE（アナハイム・エレクトロニクス）が開発した6番目「 θ （シータ）ガンダム」に相当するZZガンダムは、“変形”“合体”を特徴とし、スペックや機能の構成要素から第4世代MSにカテゴライズされる。コンセプトとしては、極めて大出力・大火力志向の強いMSであった。ただし、コア・ブロックが露出する構造であったため、その脆弱さが懸念されており、設計段階から装甲の強化のための増加パーツが考案されていた。このシステムは、俗に“FA（フルアーマー）”と呼ばれる装甲や武装の追加による機能向上であり、それは一年戦争以降のMS開発者にとって既に至極スタンダードな手法ともなっていた。機体そのもののブロック化によって、ZZガンダムは当初から非常にシステムティックな構造が採用されていたため、運用方針による仕様変更なども当初から設計に盛り込まれており、非変形のバージョンも検討されていたのである。と言うより、単機能のMSとしての運用に限定すれば、ある意味でFA化された状態こそがZZガンダムの完成形だったとも言えるだろう。変形のためのフレームの設計は難航し、実機の建造が滞る中、その完成形のみを指標とし、変形機構や頭部ハイメガキャノンなどをオミットしてZZガンダムの先行試作機が複数、建造された。本来は運用試験のみに投入される予定だったZZガンダム先行試作機は、U.C.0088年1月28日に起きた「ニューディサイズ」の蜂起に対応するため急遽編成された α （アルファ）任務部隊に徴発され、実戦投入されることになったのである。

試作機の外装にはガンダリウム・コンボジットが使用されているものの、指定水準ではない材質が用いられていたことから、実戦投入にあたって少しでも装甲防御力を強化するべく、機体と同時進行で開発

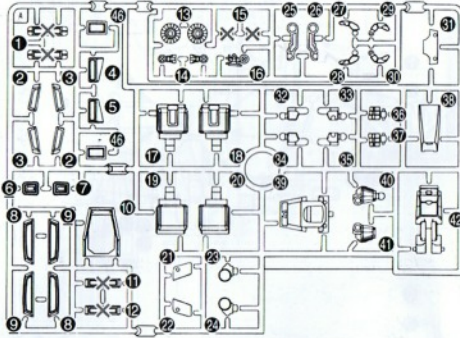


Conceptual illustration : Katoki-Hajime

パーツリスト

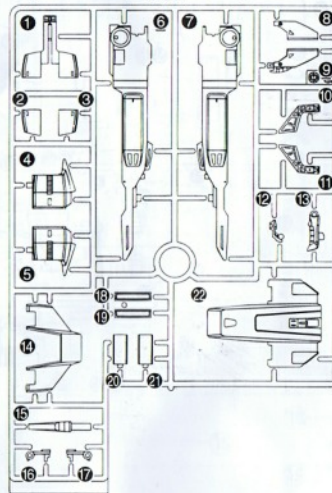
Aパーツ

(スチロール樹脂: PS)



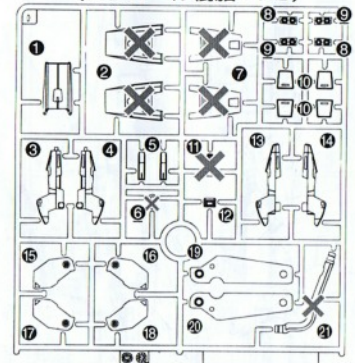
Cパーツ

(スチロール樹脂: PS)



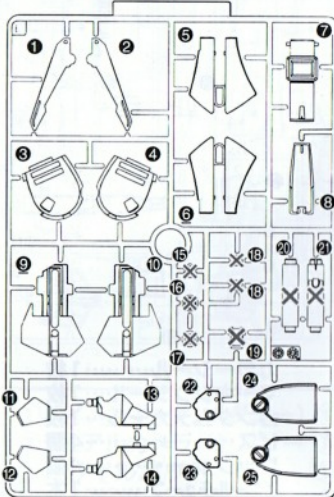
Dパーツ

(スチロール樹脂: PS)



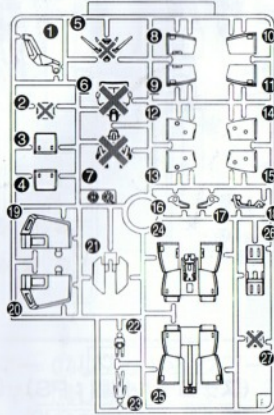
Eパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)



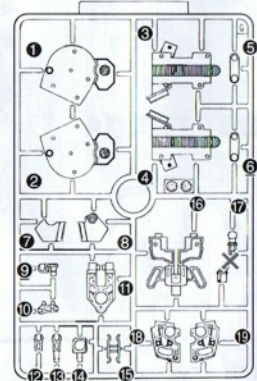
Fパーツ

(スチロール樹脂: PS)



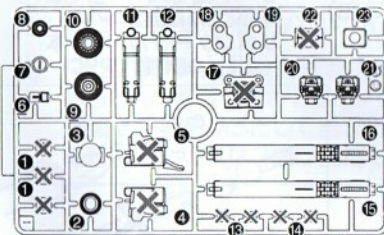
Gパーツ (×2)

(ABS樹脂: ABS)



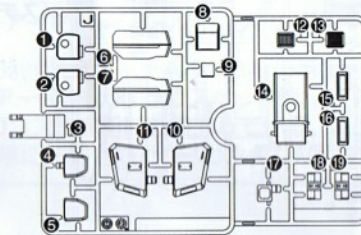
Iパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)



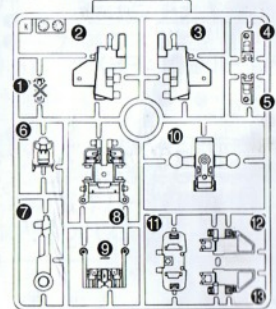
Jパーツ (×2)

(スチロール樹脂: PS)



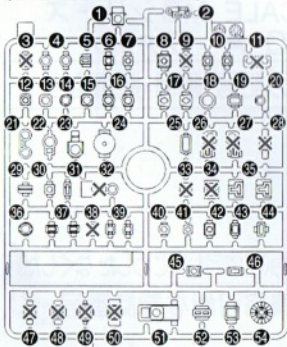
Kパーツ

(ABS樹脂: ABS)



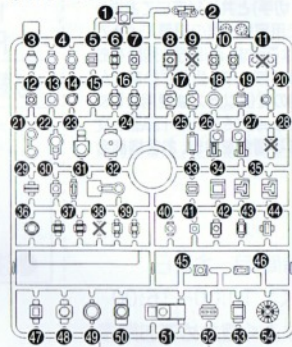
Mパーツ

(ポリエチレン: PE)



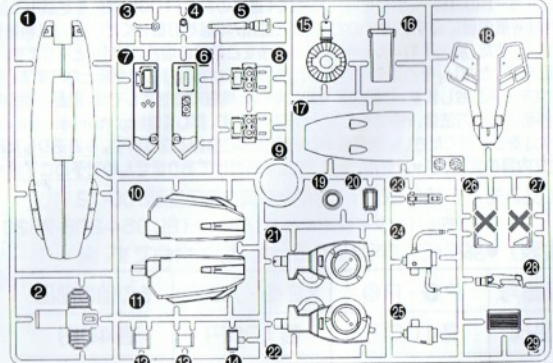
Mパーツ

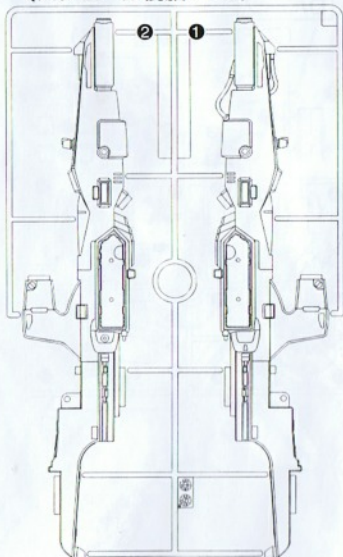
(ポリエチレン: PE)



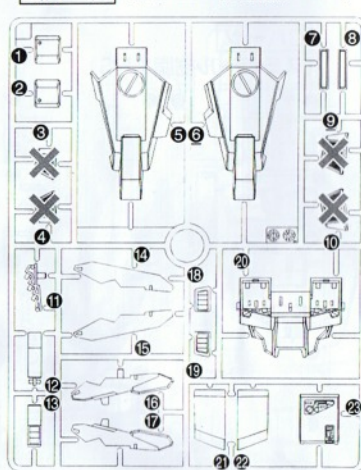
Oパーツ

(スチロール樹脂: PS)

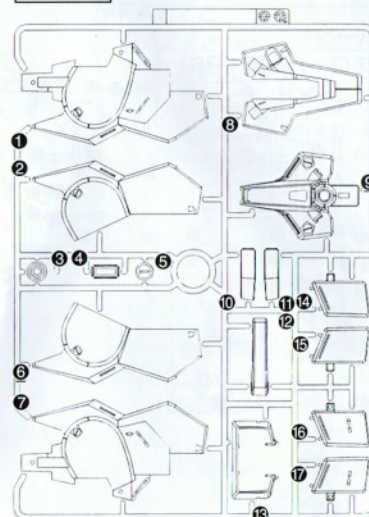


Pパーツ
(スチロール樹脂: PS)

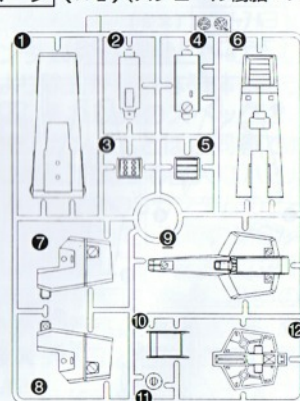
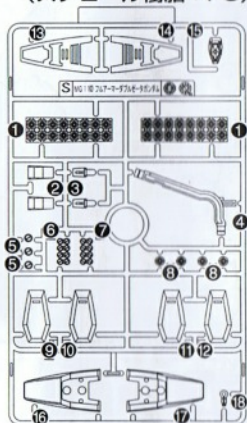
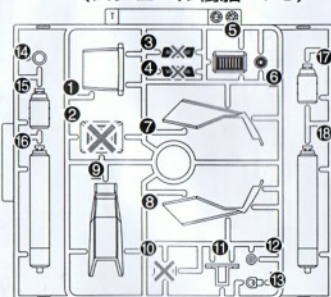
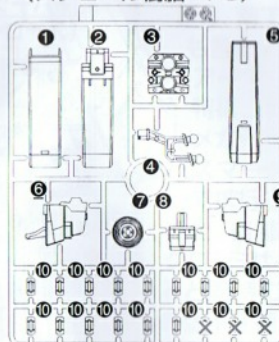
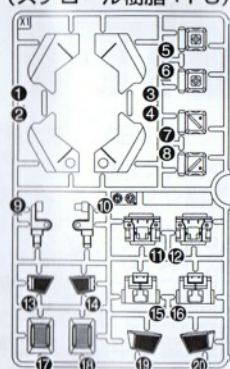
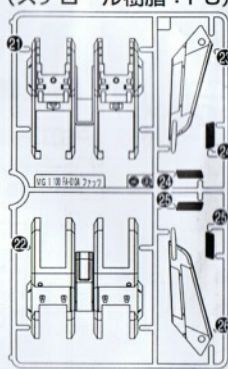
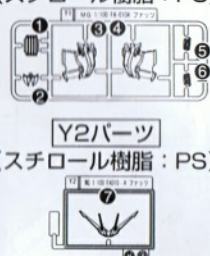
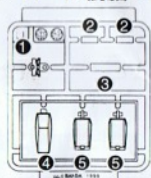
Qパーツ (スチロール樹脂: PS)



Rパーツ (スチロール樹脂: PS)



Wパーツ (× 2) (スチロール樹脂: PS)

Sパーツ
(スチロール樹脂: PS)Tパーツ (× 2)
(スチロール樹脂: PS)Uパーツ (× 2)
(スチロール樹脂: PS)X1パーツ
(スチロール樹脂: PS)X2パーツ
(スチロール樹脂: PS)Y1パーツ
(スチロール樹脂: PS)Y2パーツ
(スチロール樹脂: PS)L1パーツ
(スチロール樹脂: PS)

カラーシール.....1枚
マーキングシール...1枚
ガンダムデカール...1枚
ビス.....4個
ワッシャー.....4個
ビニールチューブ.....1本
(ポリエチレン: PE)
メッシュパイプ.....1本
(PET樹脂: PET)
リード線.....1本
(塩化ビニル樹脂: PVC)
リボンケーブル.....1本
(塩化ビニル樹脂: PVC)



《お買い上げのお客様へ》万が一部品に不良品がありましたら、その部品を取りはずし、商品名、部品の記号、部品番号、不具合の症状を書いて、下記までお送りください。良品と交換させていただきます。また、部品をこわしたり、なくした場合は部品通販をご利用ください。代金は料金表を参照していただき、商品番号/商品名/部品の記号/部品番号/数量を明記して頂き、部品注文カード(部品注文カードのコピー、手書き可)、部品代+送料の料金(100円単位を定額小為替、10円単位を切手)と共に封書にてお送りください(封書の裏に必ずお客様のお名前/ご住所/年齢をお書きください)。送料は実際に部品をご用意した際の重量によって変わります。また、別途手数料が必要な送付方法をご希望の場合、別料金となります。料金の不足分はご請求、超過分は残額をお返し致します。ただし、それ以外にかかった手数料等はお客様のご負担となります。在庫がない場合は誠に申し訳ございませんがご注文をお返し致します。ご購入頂きました個人情報につきましては、商品・部品の発送及び情報の提供以外には使用致しません。部品注文の方法は、HPでもご紹介しております。詳しくはhttp://bandai-hobby.net/SC/2007/10/post_55.html▶「部品注文のしかた」をご参照ください。通信費等はお客様のご負担となります。※お送りした部品に不良がある場合を除き、お客様都合での注文内容の変更、キャンセル、交換、返品は受け付けておりませんので予めご了承ください。

■申し込み先 〒420-8681 静岡県静岡市葵区長沼500-12
(株)バンダイ静岡相談センター TEL 054-208-7520

《料金表》●部品代、送料は切り取った1個の料金です。

部品番号	P①・P②	X2①・X2②	その他の部品
部品代	各100円	各100円	各40円
郵送料	160円	140円	120円

・電話受付時間 月～金曜日
(祝日を除く) 10:00～16:00
・電話番号はよく確かめてお間違いのないようご注意ください。

2001.9/T・TO

FOR USE IN JAPAN ONLY.

部品注文カード

0105266

1/100SCALE MGシリーズ
FA-010-A ファッツ

必要な部品の記号・番号・数量をかく

●注文された理由(○で囲む)(こわしたなくした)

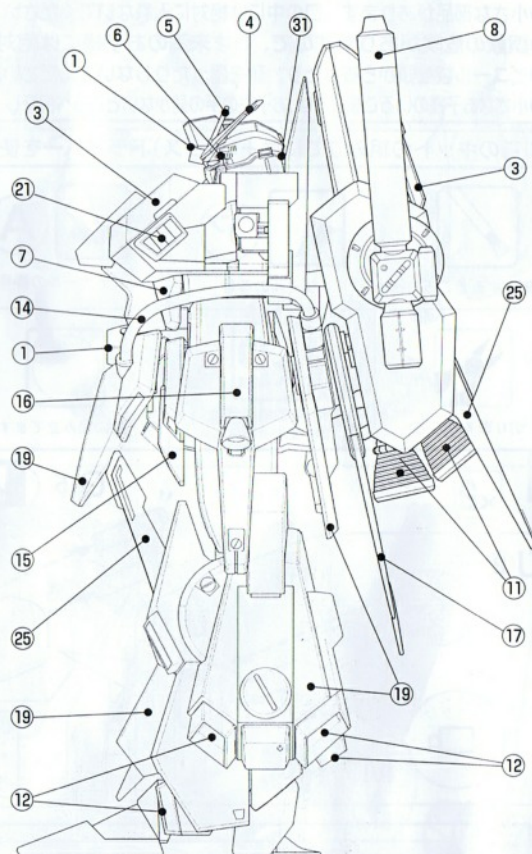
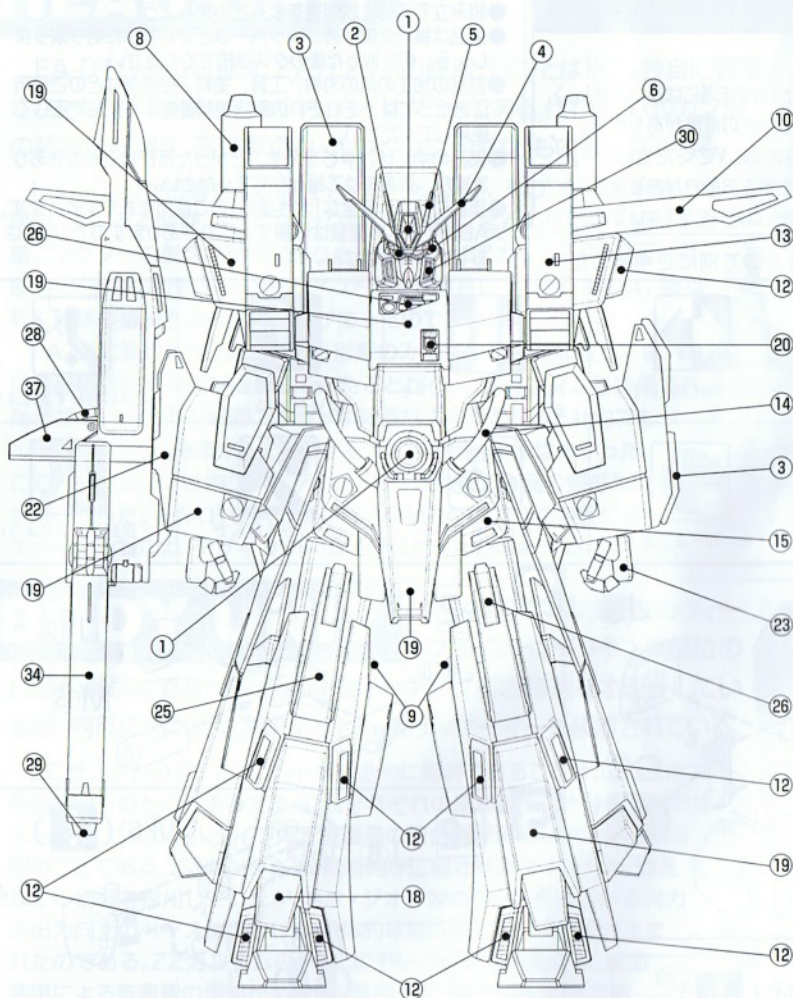
日中ご連絡可能な電話番号
(- -)

R1105266

'01.09

※コピー使用可

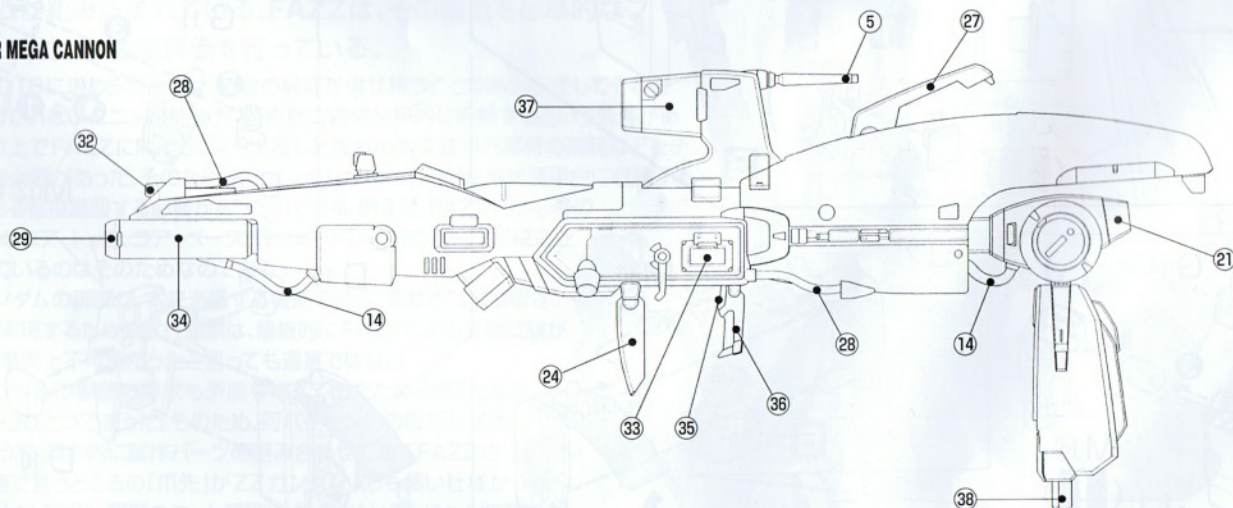
FA-010-A FAZZ



- | | | | | |
|-------------------------|-----------------|-------------------|--------------|--------------|
| ① ハイメガキャノン (ダミー) | ⑨ ニージョイントアーマー | ⑬ リアウイングアーマー | ⑮ スタビライザー | ⑲ コネクターポート |
| ② デュアルカメラ/センサー | ⑩ ショルダースラスタアーマー | ⑭ レッグアーマー | ⑯ マルチセンサーアレイ | ⑳ バレル |
| ③ ミサイルポッド | ⑪ メインスラスタ | ⑮ エディショナルアーマー | ㉑ セーフティロック | ㉒ トリガー |
| ④ マルチブレードアンテナ | ⑫ サブスラスタ | ⑯ フィールドジェネレーター | ㉓ データリンクケーブル | ㉔ グリップ |
| ⑤ マルチロッドアンテナ | ⑬ スプレーミサイルランチャー | ㉕ ダクト | ㉖ マズル | ㉗ オプティカルセンサー |
| ⑥ 60mmバルカン | ⑭ エネルギーサブライケーブル | ㉘ ライフルコネクター | ㉙ クーリングインテーク | ㉚ エネルギーターミナル |
| ⑦ コクピットハッチ | ⑮ フロントアーマー | ㉛ マニピュレーター | ㉜ クーリングダクト | |
| ⑧ ハイパービーム・サーベル/ビーム・キャノン | ⑯ サイドスラスタアーマー | ㉝ フォールディンググリップガード | ㉞ ナロウレンジセンサー | |

注) FAZZ (ファッツ) と呼ばれるMSは、「ND討伐戦」後にFA-010用の増加装甲評価試験機として一般大衆に流布された。もちろん、実戦参加がZZガンダムのフルアーマー状態でのスペック検証にも大いに役立ったことは言うまでもない。また、同機を非変形MSとして再設計した場合のコスト確認にも役立っている。ZZガンダム開発途中の試作パーツの寄せ集めとも言えるFAZZは3機が完成し、α任務部隊に配備されたが、ガンダムMk-Vとの交戦で全機が失われている。

■ HYPER MEGA CANNON



⚠ 注意

必ずお読みください

- この商品の対象年齢は15才以上です。〈鋭い部品がありますので、安全上15才未満には適しません。〉
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ビニール袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息するおそれがあります。
- 小さなお子様のいるご家庭では、お子様の手の届かないところへ保管し、お子様には絶対に与えないでください。

※このキットの組み立てには+（プラス）ドライバーを使いますので別にご用意ください。

〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
 - 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
 - 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
 - 部品の中には、やむをえず、とがった所があるものもありますが、気をつけて組み立ててください。
 - 塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- ※ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。



・接着をするところの線



・シールの番号



・デカールの番号



・反対側に取り付けるパーツ



・両側に同じパーツを取り付ける



・向きに注意して取り付ける



・ビスの締めすぎに注意



・切り取るところ



・部品を数値の個数作ります



・先に組み立てます



・後に組み立てます



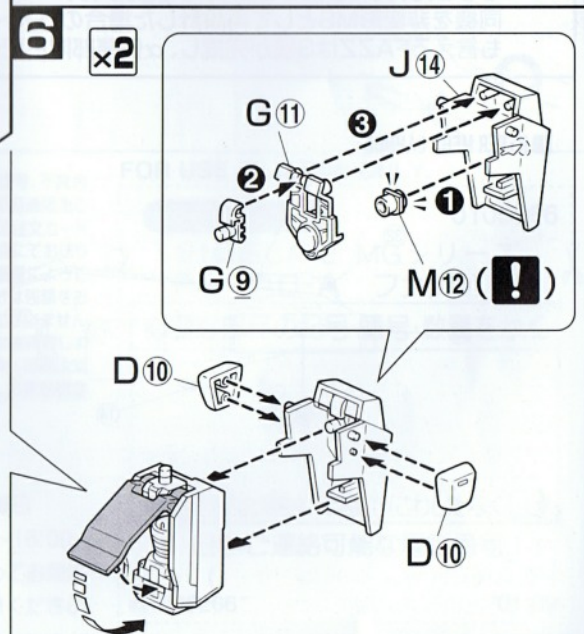
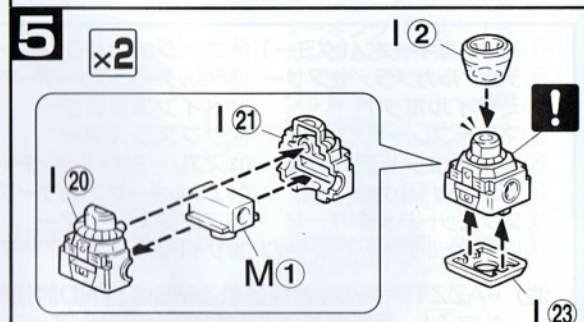
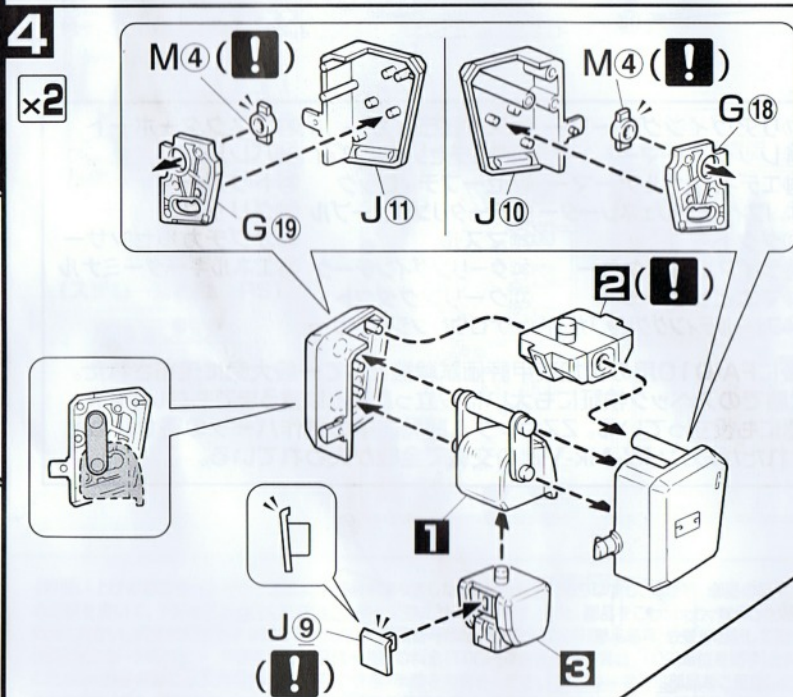
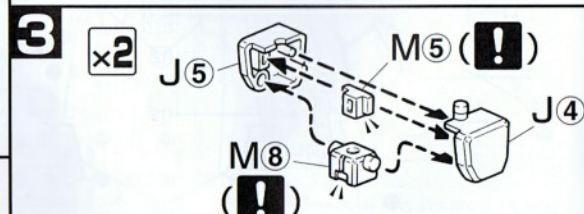
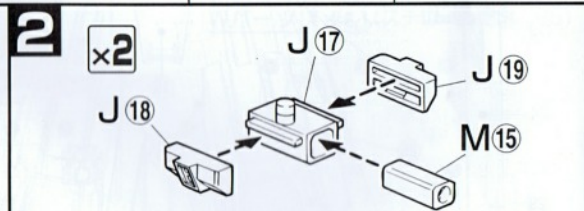
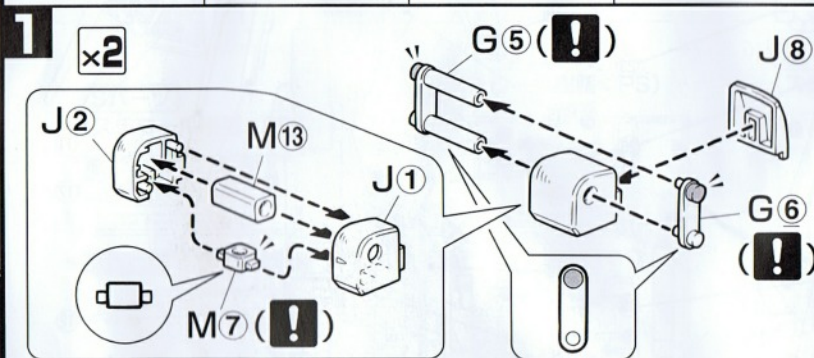
・数値に合わせて回転させます



・どちらかを選んで取り付ける



・反対側も同じように動かします

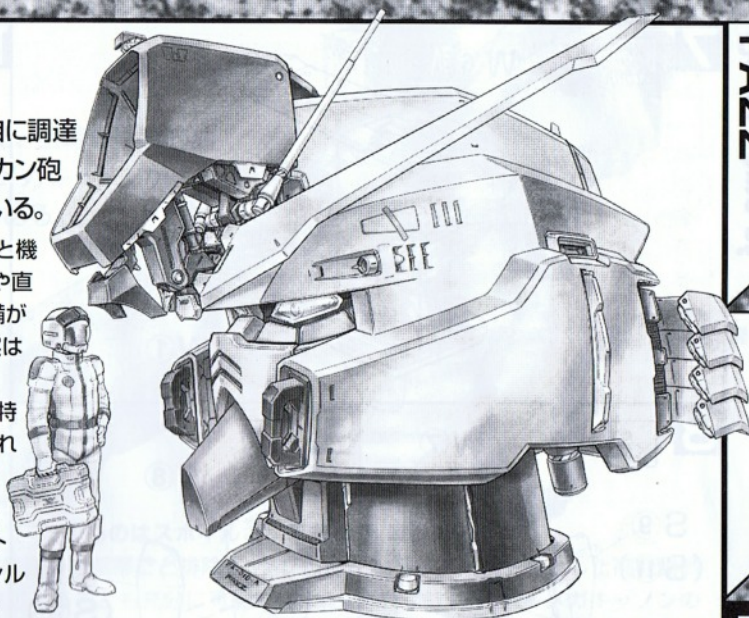


HEAD UNIT

FA-010-Aの頭部は、ZZガンダムの建造ラインとは別に、独自に調達されたもので“頭部ハイメガキャノン”はダミーである。代わりにバルカン砲の装弾数が増え、高効率のクーリングユニットなども内装されている。

MSZ-010が搭載する頭部ハイメガキャノンは、その破天荒な機能と機構のため、ある時期、バックパックから頭頂部に至るエネルギー経路や直結コネクターの製作が暗礁に乗り上げていた。ZZガンダムの実戦配備が極端に（当初の計画からロールアウトまで6カ月以上）遅れたのは、実は変形機構の複雑さ以外にも要因があったのである。

FAZZに要求されたのが、MS形態のみの実働試験とは言っても、特に頭部構造には難問が山積していたことから、ZZガンダムで採用されたデザインと構造の頭部ユニットは問題解決のためにAE社内でもフル稼働しており、急造MSに搭載するような数量的余裕はなかった。そこでFAZZには、社内コンペティションに敗れた試作品の頭部ユニットが用いられた。FA-010-Aの頭部形状がMSA-0011の意匠に近いシルエットを持つのは、デザインチームが同じだったためと言われている。



Parts name of
FAZZ

Parts List

Head &
Body Unit

Arm Unit

Leg Unit

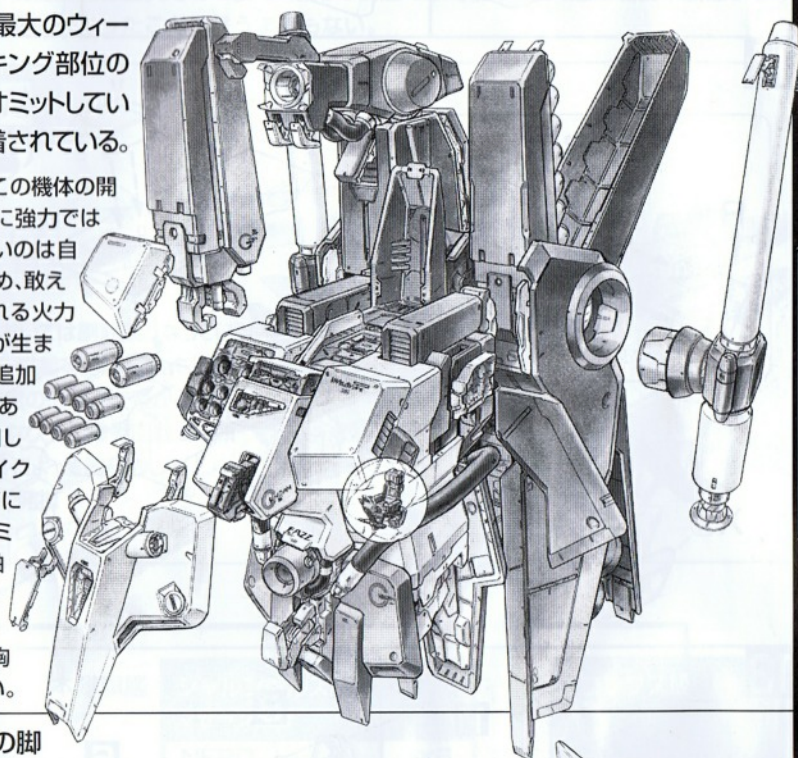
Weapons

Final Assemble

BODY UNIT

MSZ-010の最大のウィークポイントがドッキング部位の構造的脆弱さであった。FAZZはドッキング用の構造をオミットしているが、内破応力などを測定するため、ボディアーマーも装着されている。

ZZガンダムのボディユニットが構造的に脆弱であることは、この機体の開発当初から織り込み済みであった。それぞれの最終装甲は十分に強力ではあったが、ドッカブルタイプの工業製品の接合面が消耗しやすいのは自明のことである。ZZガンダムは、戦術的な広範さを獲得するため、敢えてこの構造を採用していたが、ネオ・ジオン製のMSに搭載される火力の出力向上のペースは凄まじく、具体的な対抗策を講じる必要が生まれたのである。ZZガンダムのFA化において重視されたのは、追加装甲による乾重量の増加があっても機動力を損なわないことであった。装甲そのものは基本的にガンダリウムコンポジットを多用したスペースド・アーマーとなっており、その空間そのものもマイクロミサイルポッドやプロペラントタンク、またはスラスターなどに有効利用されている。腹部のハイメガキャノンは機能しないダミーだが、エネルギーサプライケーブルそのものは実用品で、射軸制御や増加装甲内のシステムチェックなどに援用されている。また、胸部には左右で計20発のマイクロミサイルとセンサーおよび、高出力ビーム兵器への対抗策として、短時間であれば胸部前面に1フィールドを展開することも可能となっているらしい。



LEG ARMOR

MSZ-010の脚

部は、複数の要求を満たす

ため構造が複雑で、レールやヒンジを内装した複数のムーバブルフレームが組み込まれている。FAZZは、その構造を標準的なフレームで模倣し、強度評価を行っている。

MSZ-010に求められたのは、複数の機能を併せ持つことであった。そしてそれには、稼働していないユニットは、極力、各形態の最終装甲内に収納するという条件があった。その上でFAZZには、増加装甲を施した場合の耐久性や各部材の損耗などをチェックする必要があった。そのため、ZZガンダムがMS形態時に最終装甲内に収納する機構は、ある程度踏襲する必要があったのである。例えば、FAZZには必要のないはずのコア・トップ、コア・ベース、Gフォートレス時のパーツが構造として残っているのはそのためなのである。

ZZガンダムの脚部が、本来矛盾する機能である“柔軟さ”と“堅牢さ”を同時に実現するための試行錯誤は、最終的にFAZZによる実働試験がなければ事実上不可能だったと言っても過言ではない。

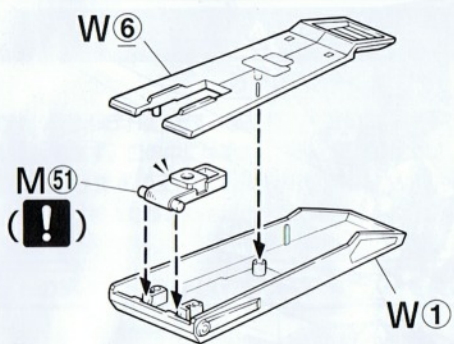
ZZガンダムの脚部の要求も矛盾を抱えていたため、頭部と並ぶ開発難所のひとつであった。そのため、何パターンもの脚部が試作されたようだ。基本的に試作パーツの組み合わせであるFAZZの中で、人間で言うところの「爪先」がZZガンダムよりも長い仕様が存在するという説は、頭部ユニット同様に、社内コンペティションに敗れた「爪先」の長いタイプの試作品を用いた機体があったためだと思われる。



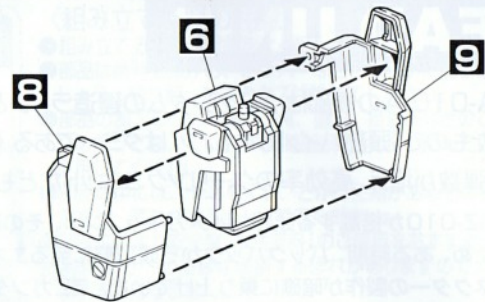
Mechanism illustration : BEE-CRAFT

7

x2

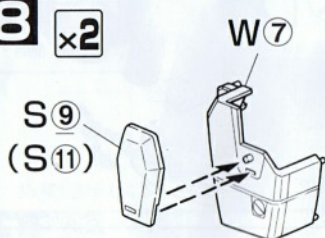


10



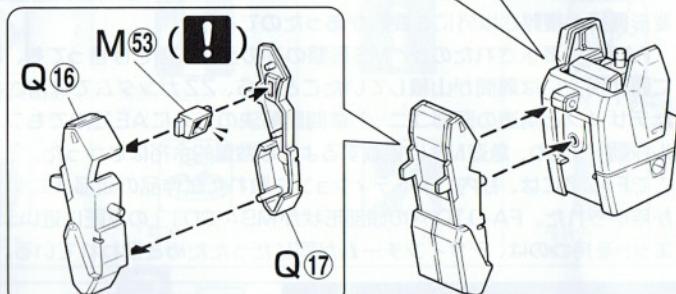
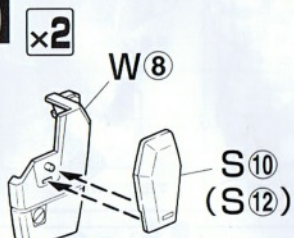
8

x2

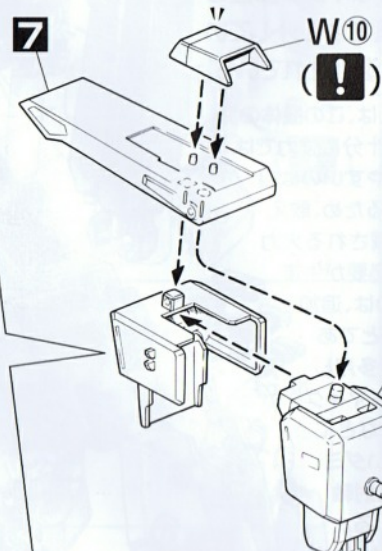
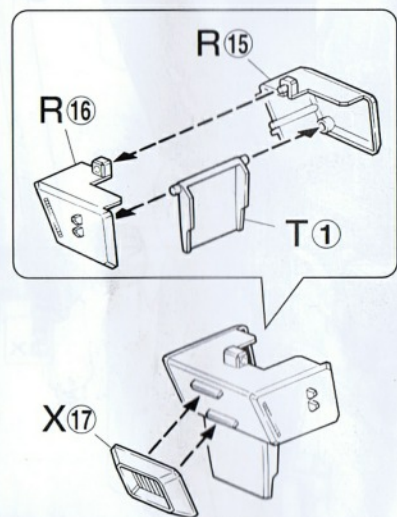


9

x2

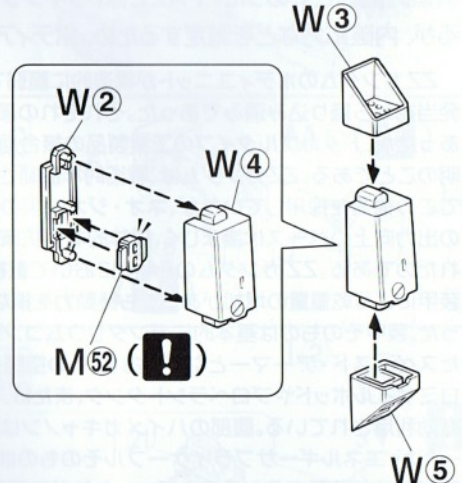


11

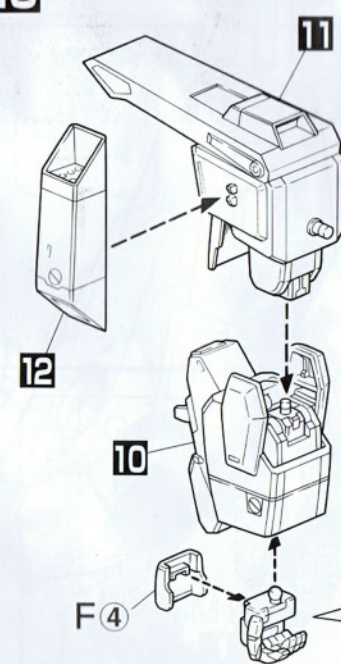


12

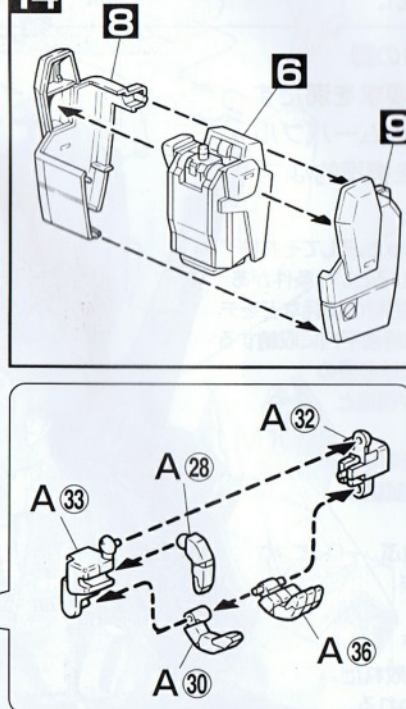
x2



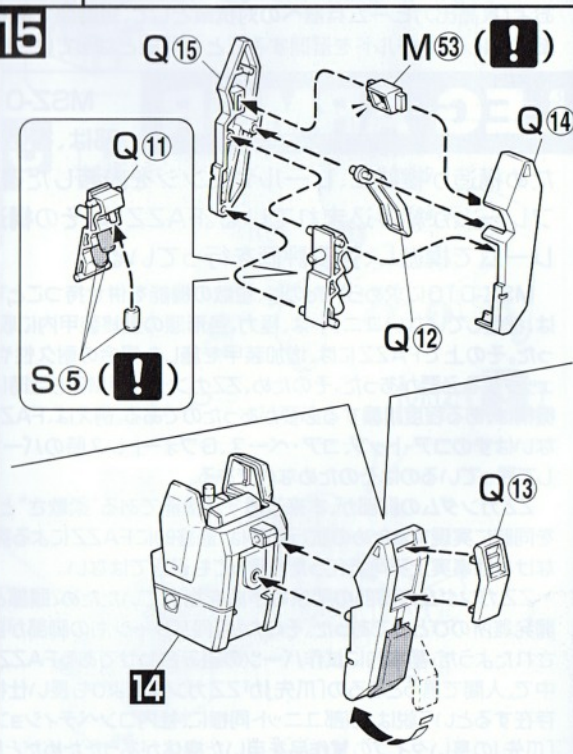
13



14



15



HYPER MEGA CANNON

強化型ZZガンダムの主武装として考えられていたもので、当時の標準的な戦艦の主砲並みの威力を持つ。頭部および腹部のハイメガキャノンがダミーであるFAZZにとって、ほぼ唯一の“攻勢”兵器でもある。

グリプス戦争の期間中、MSの携行武装は飛躍的に威力を増していった。その代表的なものが、Zガンダムなどが運用したハイパー・メガ・ランチャーなどに代表される大型火器である。このハイパー・メガ・キャノンは、ZZガンダムの頭部ハイメガキャノンの約60%増しの出力を持ち、数秒のインターバルで連射も可能であった。さらに、同部隊に所属するMSの武装としては最強のものでもあった。

この武装を標準兵器とするFAZZは、α任務部隊において、不可避免的に遠距離支援用の機体として機能するようになっていった。その意味で、純然たる重火力支援機だと言えることができる。ただし、それによってこの機体の機動性

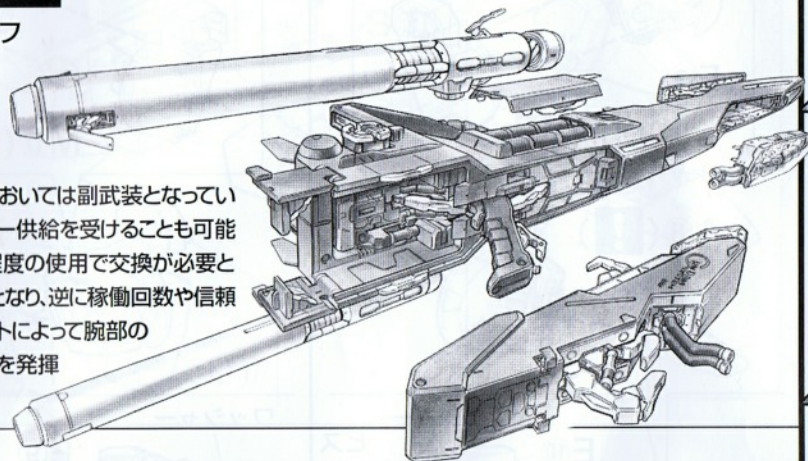


そのものはスボイルされておらず、戦況によっては砲身を基部ごと排除し、ダブルビームライフルを主軸とした高機動戦闘に対応することも充分に可能であった。それでも、ハイパーメガキャノンの慣性重量は膨大であるため、通常の状態では可能な限り、近接戦闘は回避する必要があったことは言うまでもない。

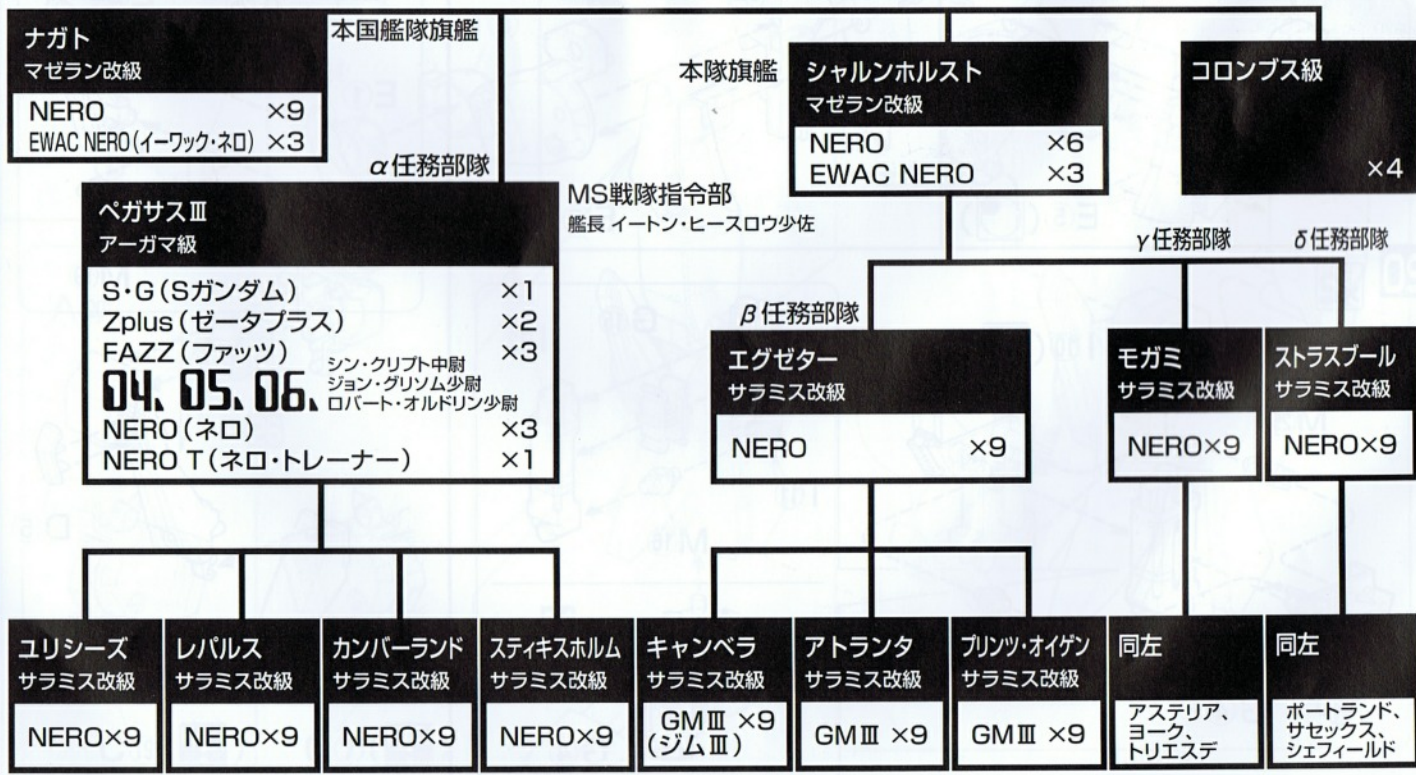
DOUBLE BEAM RIFLE

ZZガンダムの主武装であるダブルビーム・ライフルは、FA時、腕部の固定武装となる。このコンセプト自体、フルアーマーZZガンダムがFSWS構想を継ぐものであることの証左とも言えるだろう。

MSZ-010の主武装であるダブルビーム・ライフルは、FAZZにおいては副武装となっている。モジュール自体がジェネレーターを内蔵し、本体からのエネルギー供給を受けることも可能なダブルビーム・ライフルは、砲身の消耗が激しく、およそ200発程度の使用で交換が必要となるとされているが、副武装となったことで出力を抑えることが可能となり、逆に稼働回数や信頼性が向上することとなった。加えて、モジュールをコネクタージョイントによって腕部の固定武装としたことで使い勝手が改善され、迎撃装備としても威力を発揮することとなった。ちなみに、コクピットの部分はダミーとなっている。



地球連邦軍討伐隊艦隊編成



Parts name of
FAZZ

Parts List

Head &
Body Unit

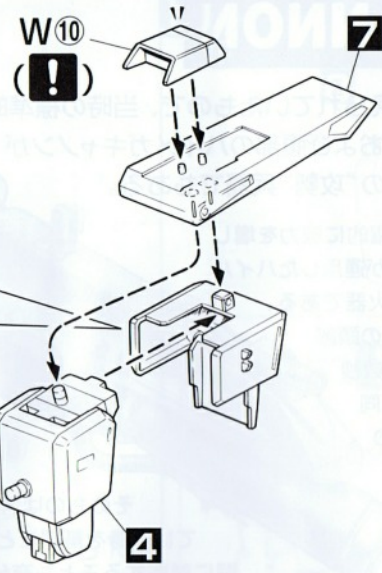
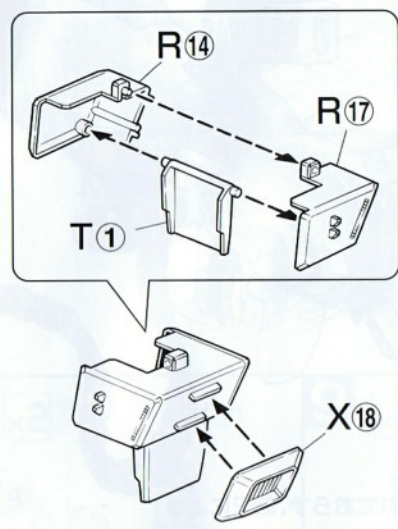
Arm Unit

Leg Unit

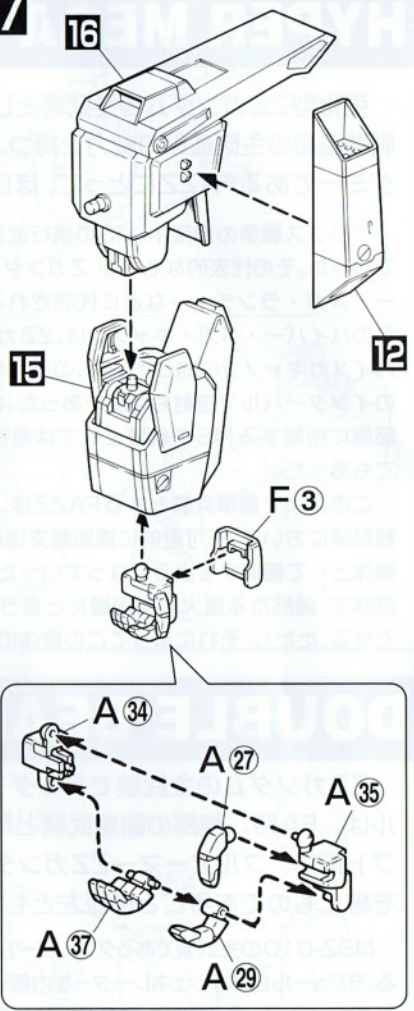
Weapons

Final/Assembly

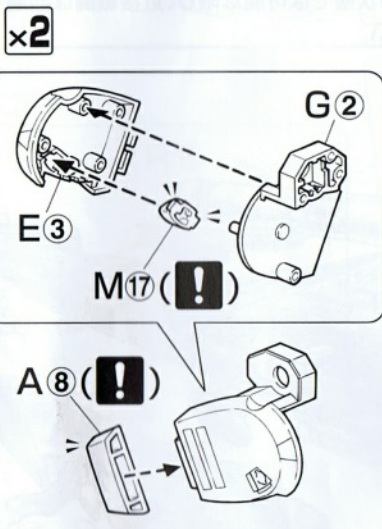
16



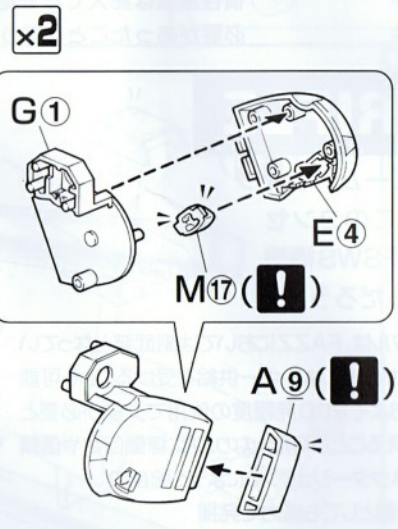
17



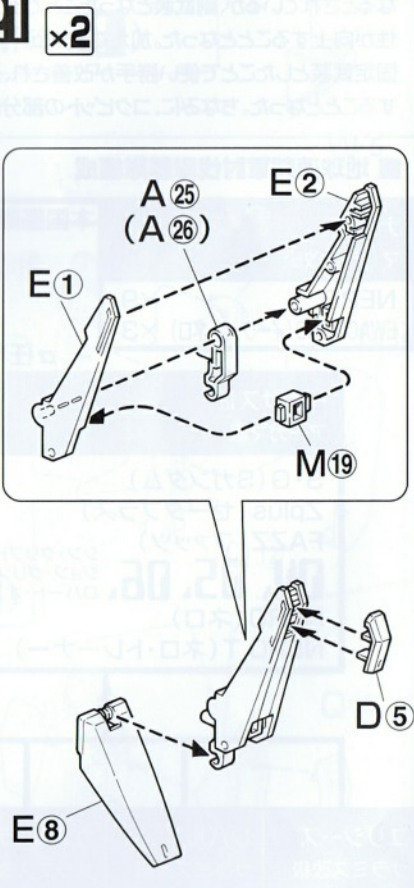
18



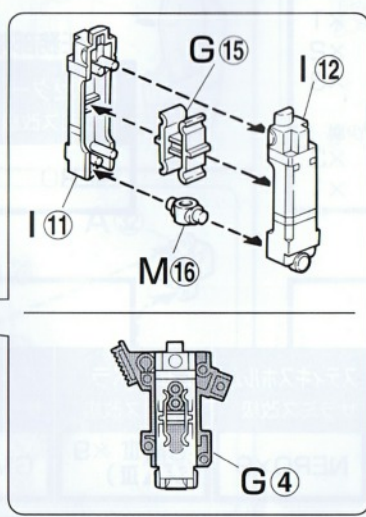
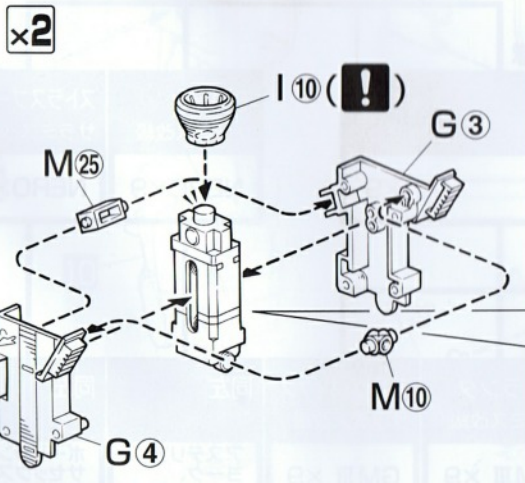
19



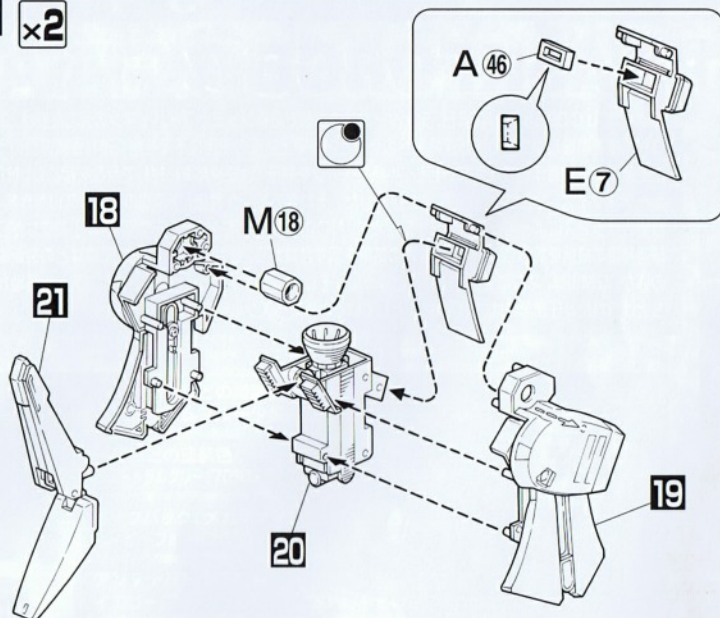
21



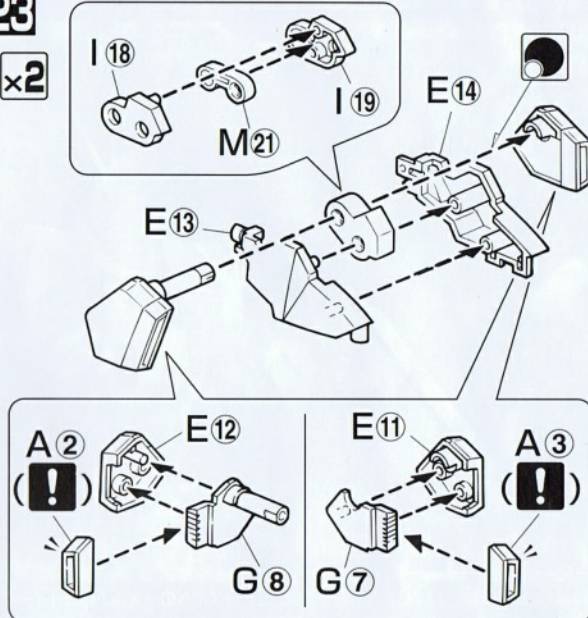
20



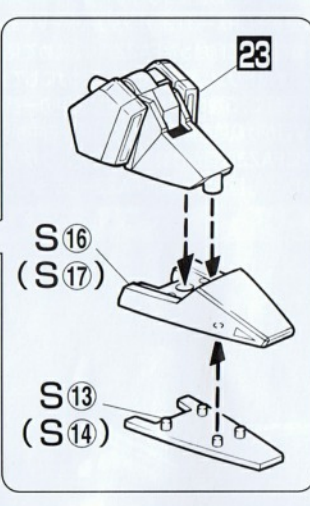
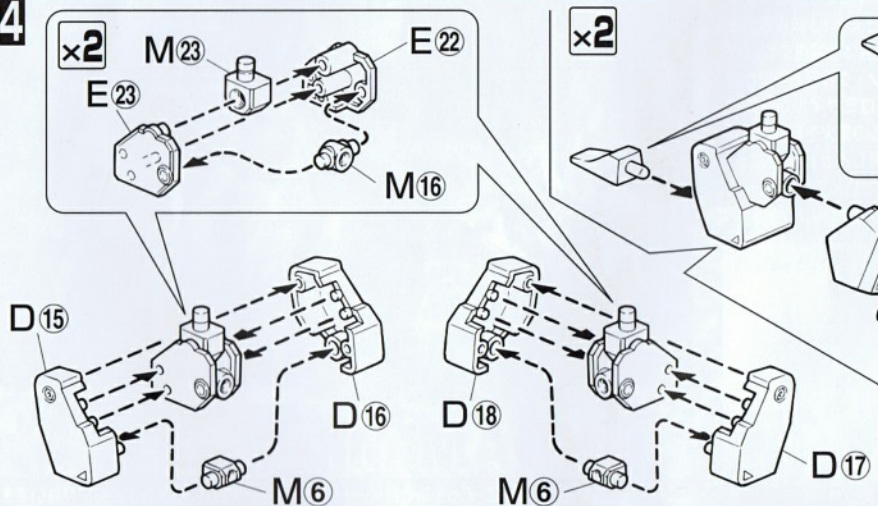
22 x2



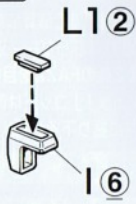
23 x2



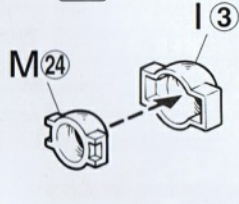
24 x2



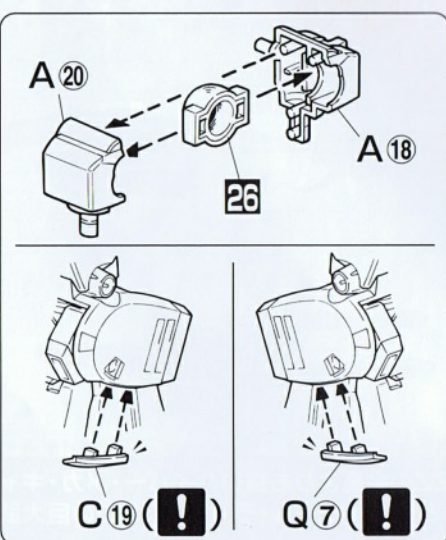
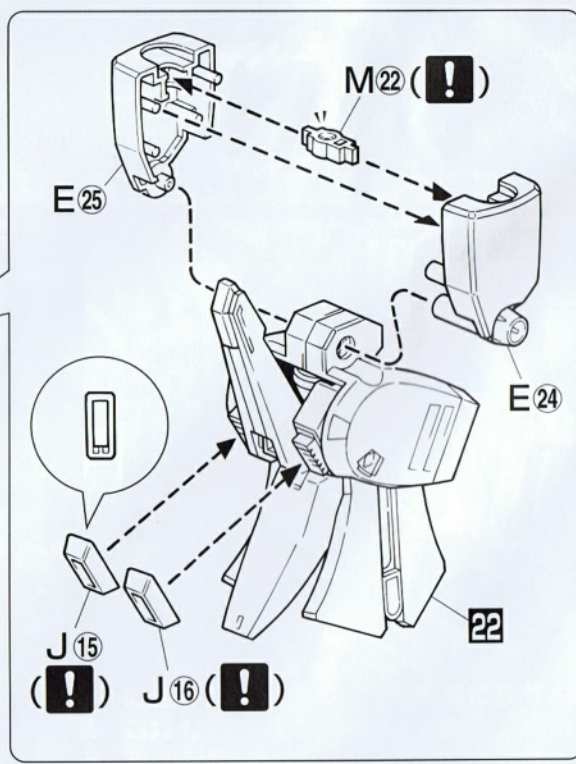
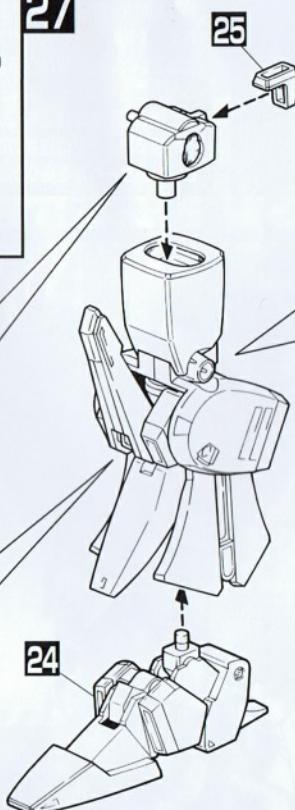
25 x2



26 x2



27





TASKFORCE α

U.C.0088年1月25日、ティターンズの首魁であるジャミトフ・ハイマンの死亡を受け、エゥーゴが実権を掌握しつつある地球連邦軍への恭順という軍上層部の決定に不満を抱く連邦軍教導団の地球至上主義派の一部青年将校が武装蜂起し、小惑星ベズンを制圧、地球連邦軍に対して反乱を起こし、ND（ニューディサイズ）を名乗り、徹底抗戦を宣言した。それから約一ヶ月後、新造艦のベガスIIIを旗艦とし、数隻のサラミスによってα任務部隊が編成され、ND討伐の任に就いた。α任務部隊は、編成ながら、地球連邦軍の威信を誇示し、軍内の一枚岩の結束を示す意味から、Sガンダム、FAZZ部隊などの最新鋭MSのほか、GMIII隊、ネロ隊を擁することとなった。そして、同年2月25日、連邦軍ハイコヌール基地から打ち上げられたα任務部隊は、NDが拠点としている小惑星ベズンの宙域に進路をとった。

EAGLE FALL

U.C.0088年3月17日、ND討伐隊は、エアース市への一大降下作戦「イーグル・フォール作戦」を発動させた。当初、戦況は優勢に見えたが、一機の敵MSの出現が状況を一変させた。その機体は、NDの首領ブレイブ・コード自らが駆る「青いガンダム」。準サイコミュ兵器インコムを装備するORX-013 ガンダムMk-Vであった。「畜生、何がMk-Vだよ!!」救援要請を受け、戦闘宙域に向かったFAZZ隊は、初めて見る「敵のガンダム」めかけ、機体を加速する。「グリソム、オールドリン、弾幕でヤツを釘付けにして止めを刺すぞ!!」隊長のシン・クリプト中尉が命じると同時に、3機のFAZZの胸部装甲の一部が吹き飛び、無数のマイクロミサイルが一斉にMk-V目かけ軌跡を描く。……と、爆煙の中から現れたMk-Vは、ミサイルの業火をものともせず、逆にFAZZ隊目かけ突進してきた。クリプトが叫ぶ。「緊急退避! 散開しろっ」「駄目だっ、間に合わ……」巨大な火球が、FAZZ-05、ジョン・グリソム少尉の機体を包み込んでいった……。



GUNDAM Mk-V

「あの野郎!!」FAZZ-06を駆るロバート・オールドリン少尉は、照準ももともに見えないまま、ハイパー・メガ・キャノン撃っていた。「よくもグリソムをやりやがったな!!」僚機を墜とされた怒りに燃え、前に出ようとするオールドリンをクリプトが制止する。「やめるオールドリン!! 二の舞を踏むぞ!!」FAZZ-04のクリプト隊長は、牽制のための射撃を行いながら、脱出ルートを確認しようとしていた。遠距離から狙撃可能だった状況は、あのガンダムMk-Vの出現で破算になってしまった。こうなったら、なんとか距離を開いたままこの宙域を脱出しなければならない。近接戦闘状況に陥ってしまえば、FAZZに勝ち目はないからだ。しかし、後退する2機のFAZZを目指し、コードの駆るMk-Vは鬼神のごとき加速で迫ってくる。「そうは行かよッ!!」コードは叫びながらビーム・サーベルを振りかぶり、2機のFAZZ目かけ、裂帛の気合いと共に振り下ろした!!



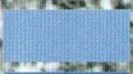








WEAPONS



▲ FAZZの全高よりも長いハイパー・メガ・キャノンとダブルビーム・ライフル、2つの巨大武装をセット。

PAINTING

- ※よりリアルに仕上げたい場合は、下の基本色をご覧ください。
- ※塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- このキットを、よりリアルに塗装したい方は、(株)GSIクレオスより発売のガンダムカラー (MG「ファッツ」用) をお使いください。
- ABS樹脂部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

	顔、腕などの塗装色。ミディアムブルー(60%) +ホワイト(30%)+ブラック(10%) ※またはガンダムカラー グレー19
	額、クツなどの塗装色。コバルトブルー(80%) +ホワイト(20%)+ブラック少量 ※またはガンダムカラー ブルー8
	各アーマーなどの塗装色。ホワイト(100%) +ミディアムブルー少量 ※またはガンダムカラー ホワイト5
	関節などの塗装色。 ニュートラルグレー(70%)+ミッドナイトブルー(30%)+パープル少量
	バックパック、メガキャノンなどの塗装色。 ネイビーブルー(70%)+ホワイト(20%)+グリーン(10%)
	アンテナなどの塗装色。 イエロー(70%)+ホワイト(20%)+オレンジ(10%)
	目の塗装色。 クリアブルー(70%)+クリアイエロー(30%)
	各インターク、スラスターなどの塗装色。 ブラック(90%)+ホワイト(10%)
	センサーなどの塗装色。 ティトナグリーン(100%)



FRONT VIEW



REAR VIEW



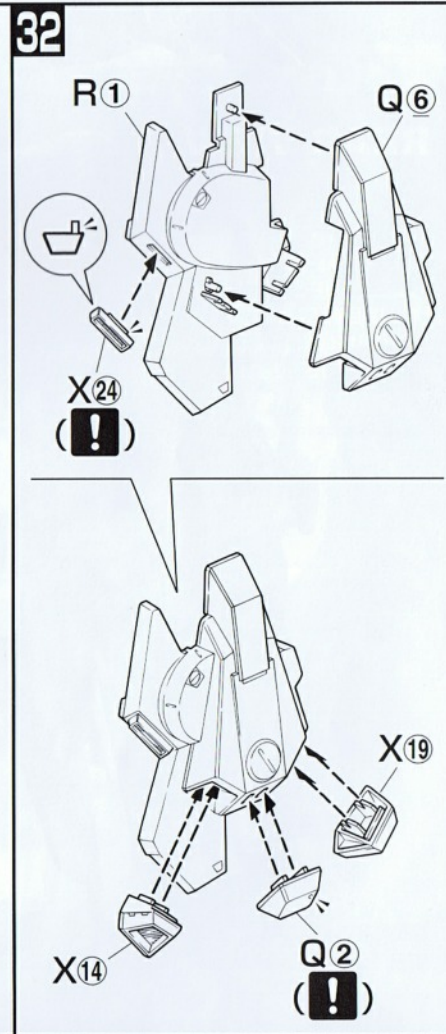
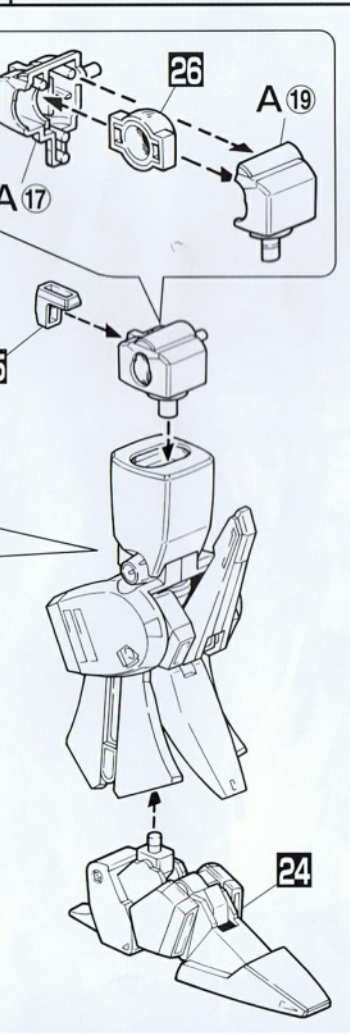
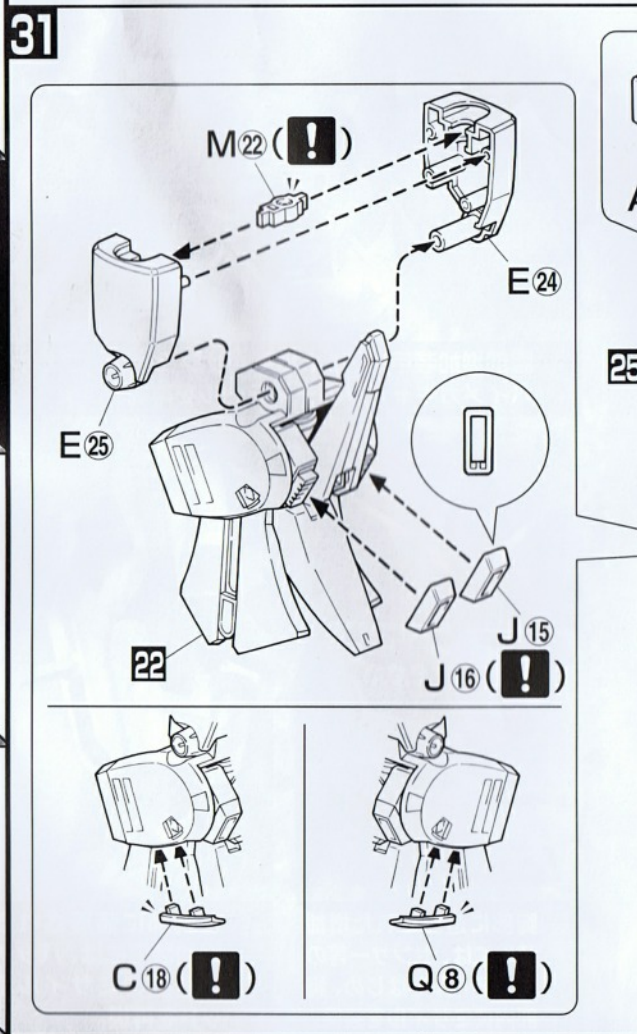
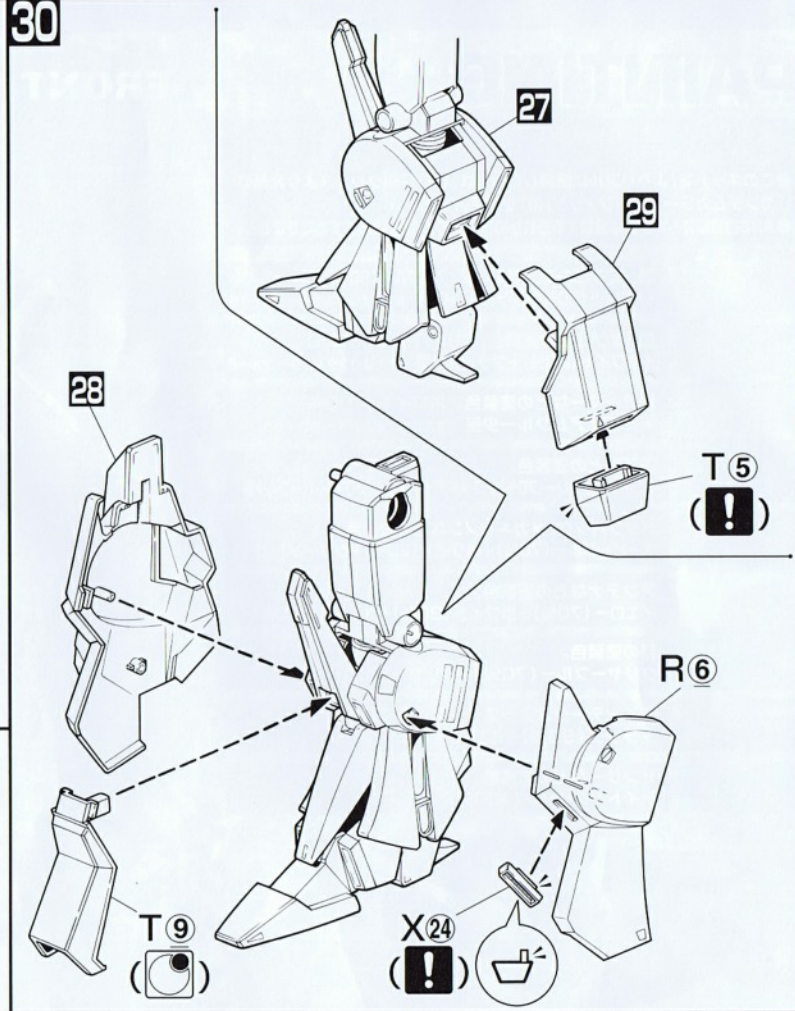
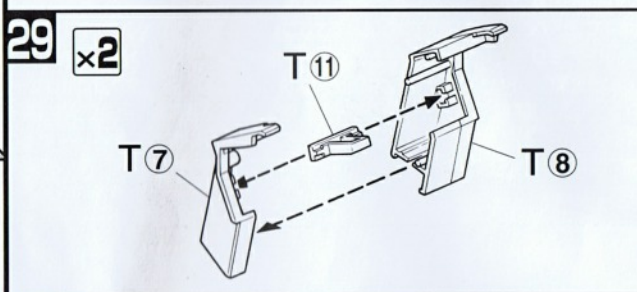
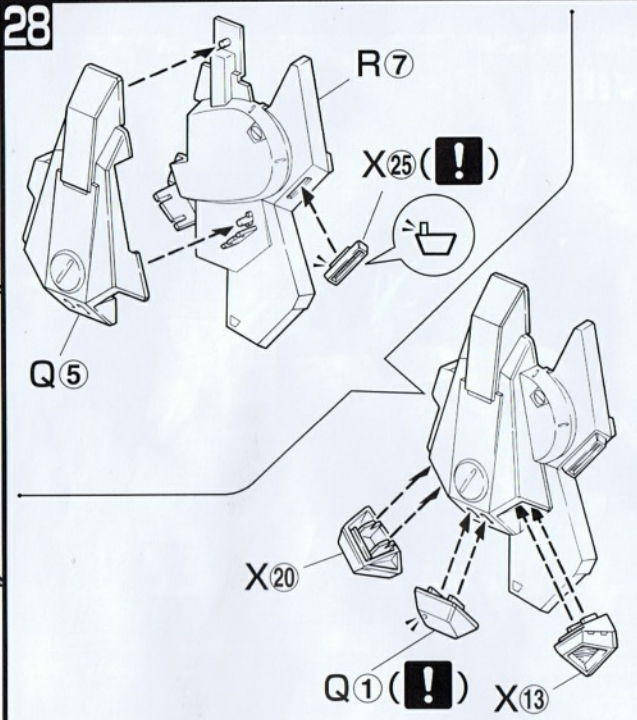
▲ 腰部増加装甲は、エネルギーサプライケーブルや、ハイメガキャノンのディテールを再現。



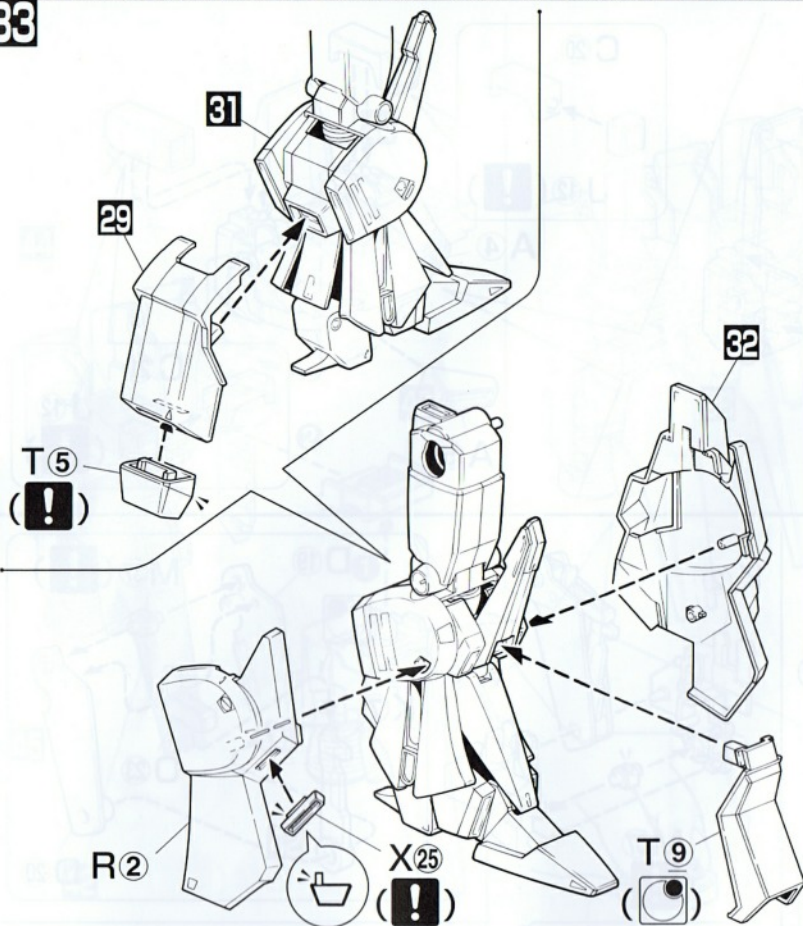
▲ 胸部に追加された増加装甲には、センサー等のディテールをはじめ、胸部内にミサイルを装備。



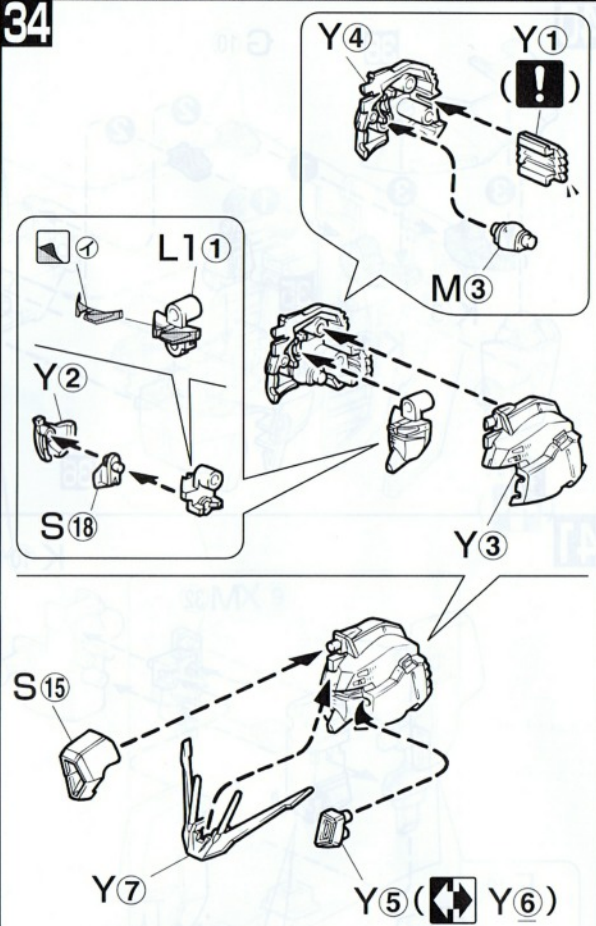
▲ 左腕部に装着される増加装甲には、ハッチ開閉式のミサイルポッドを再現。



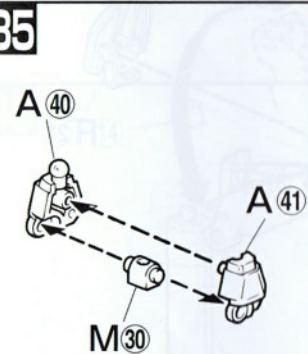
33



34

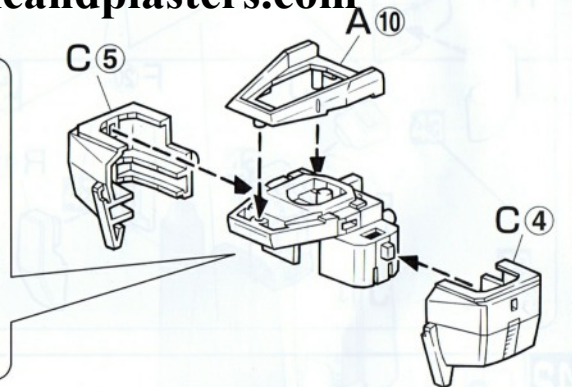
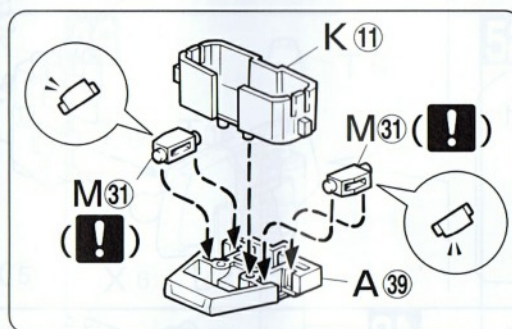


35

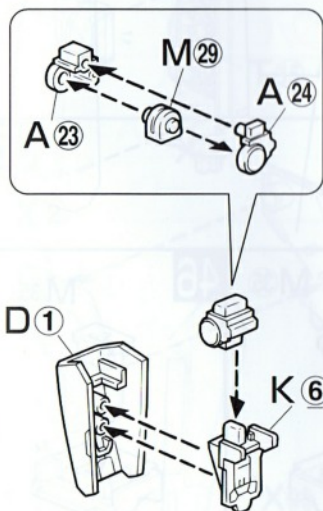


36

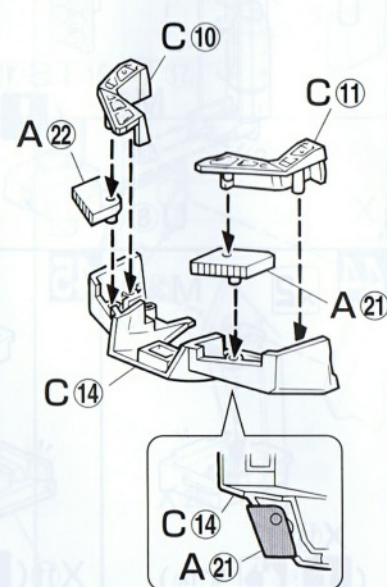
Scanned by www.plasticandplasters.com



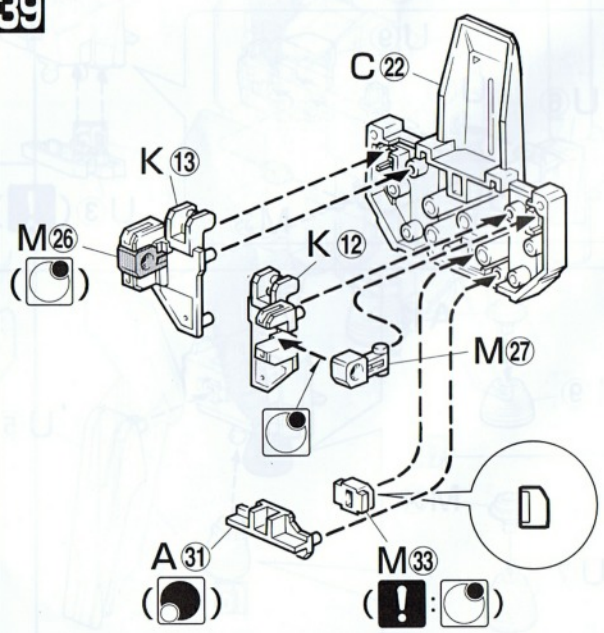
37



38



39

Parts name of
FAZZ

Parts List

Head &
Body Unit

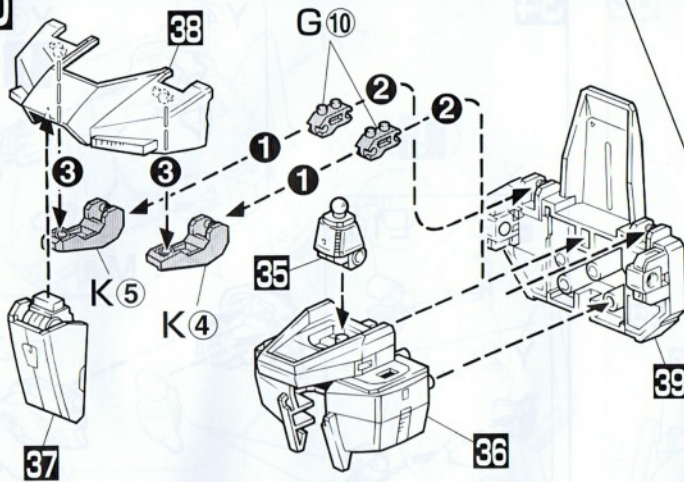
Arm Unit

Leg Unit

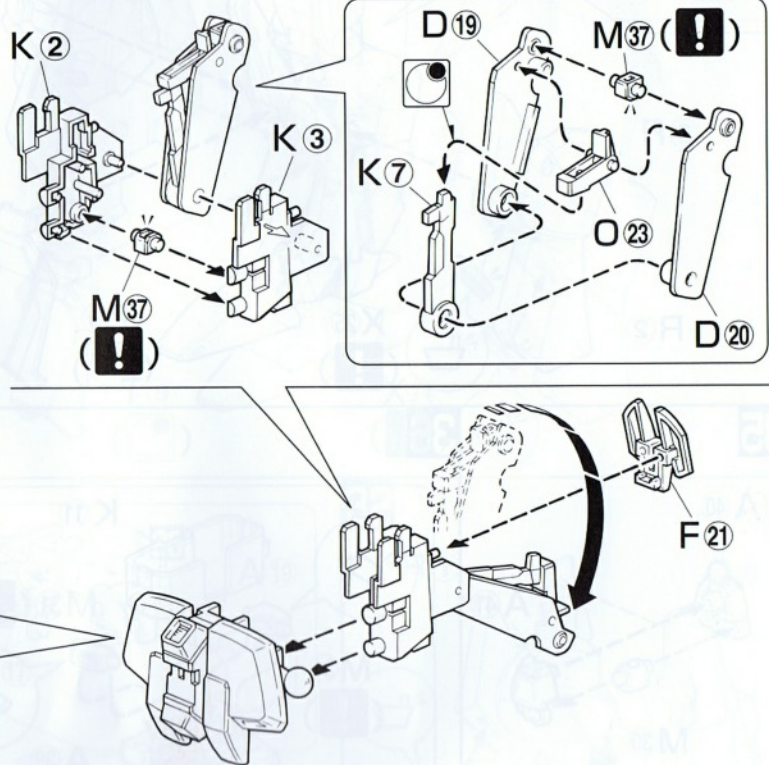
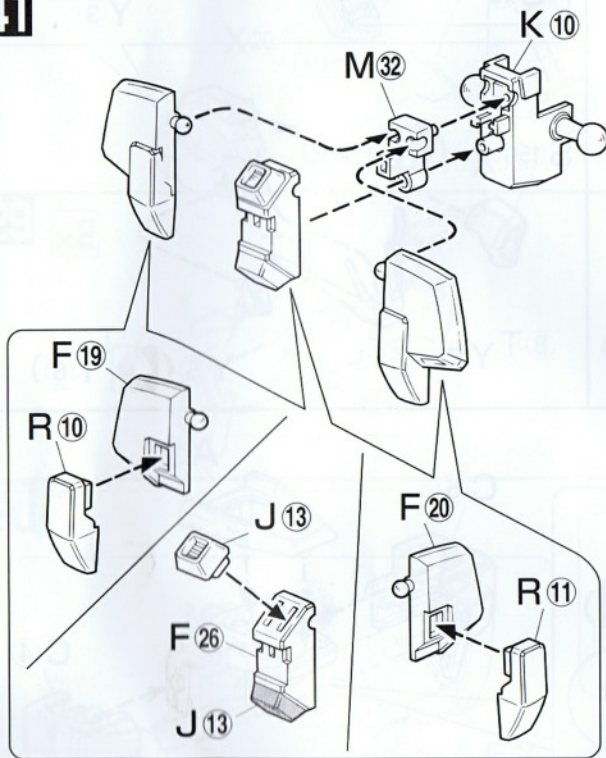
Weapons

Final Assemble

40

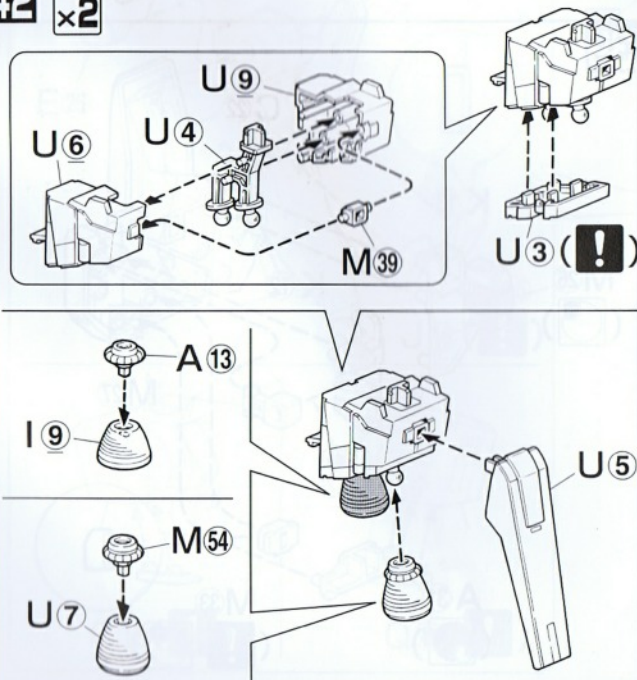


41



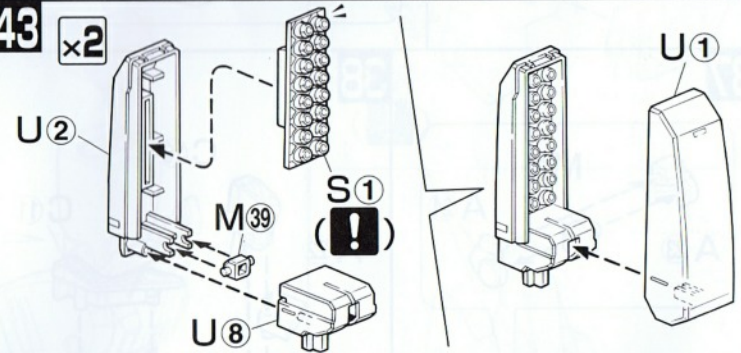
42

x2



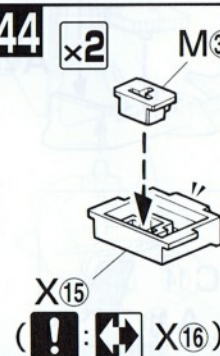
43

x2



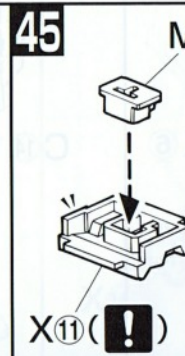
44

x2



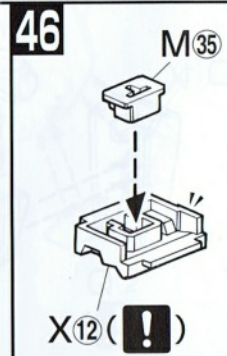
45

M35

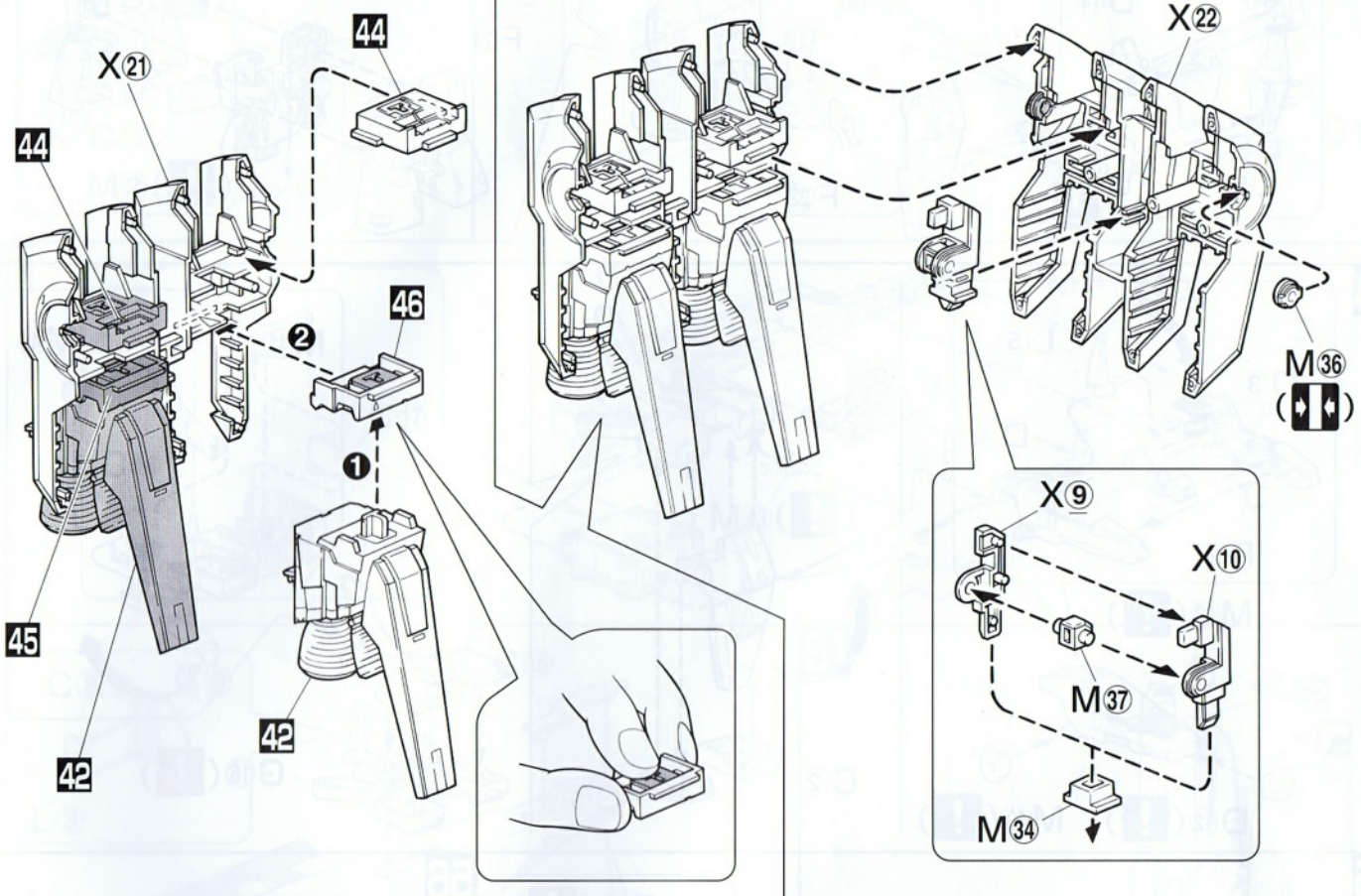


46

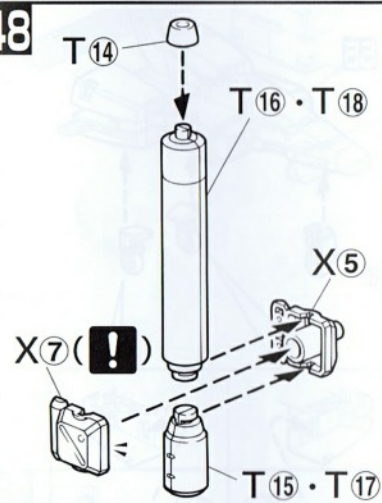
M35



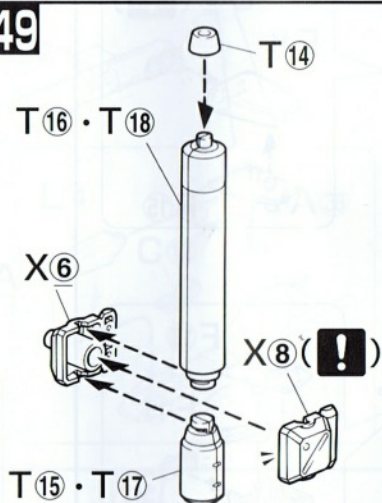
47



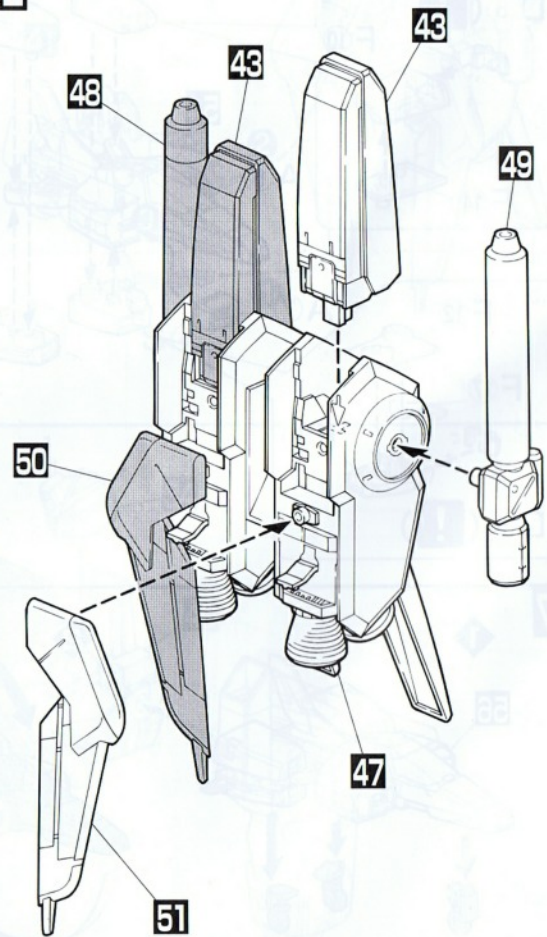
48



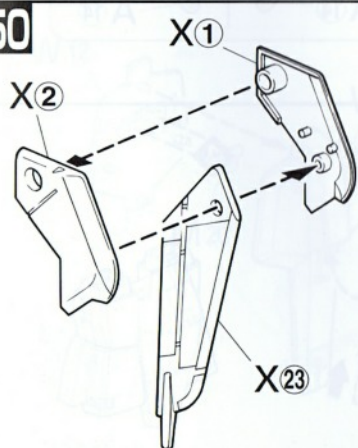
49



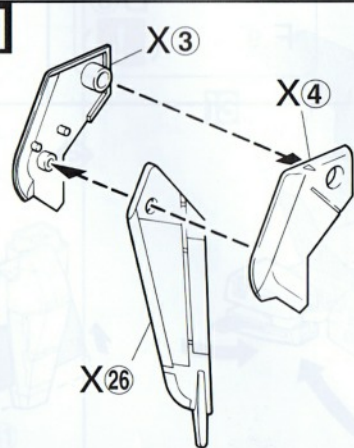
52



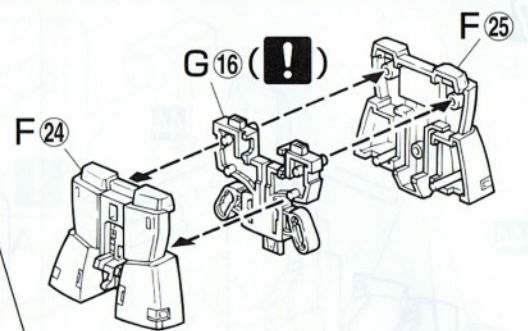
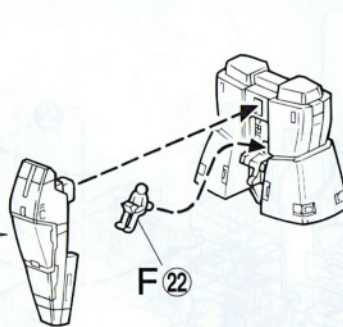
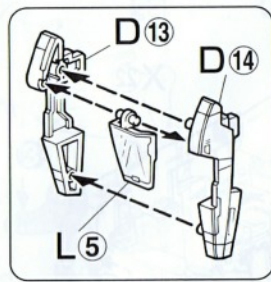
50



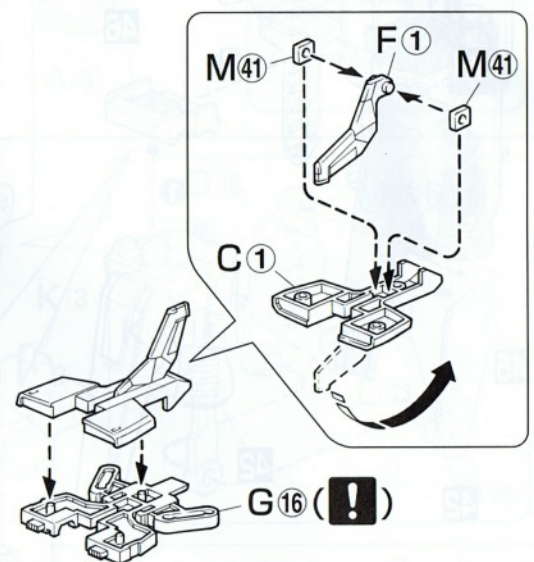
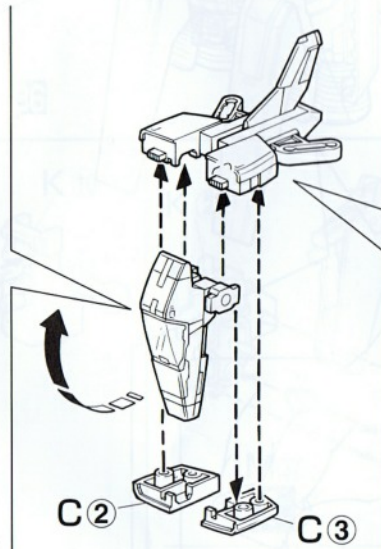
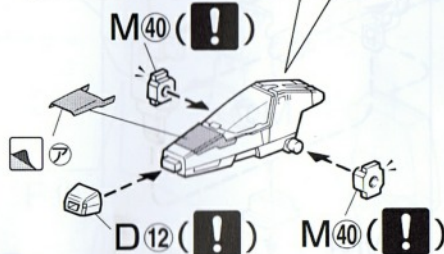
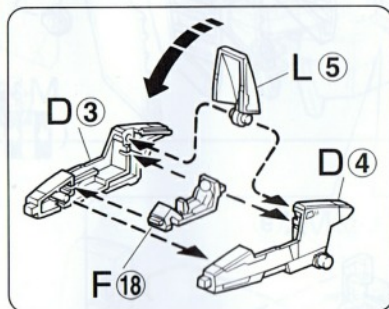
51



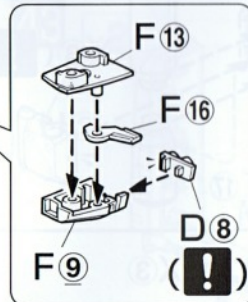
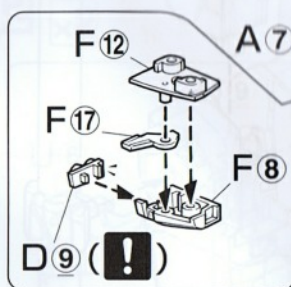
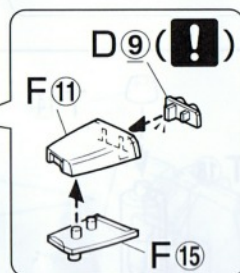
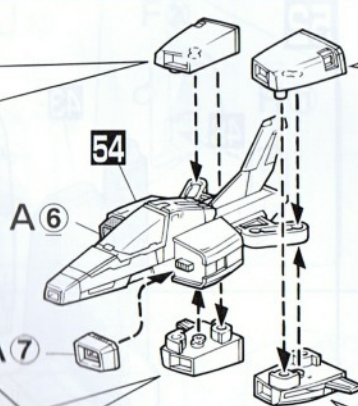
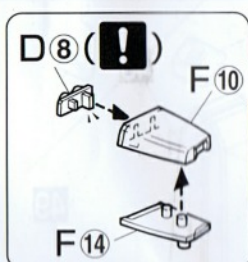
53



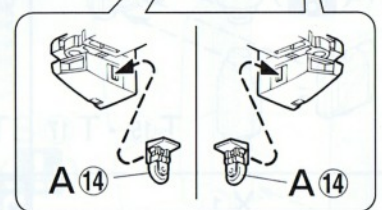
54



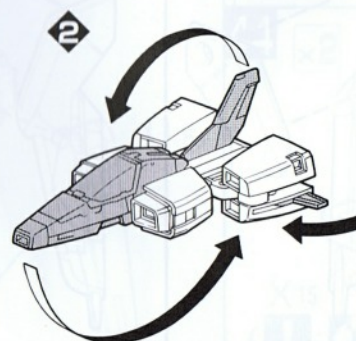
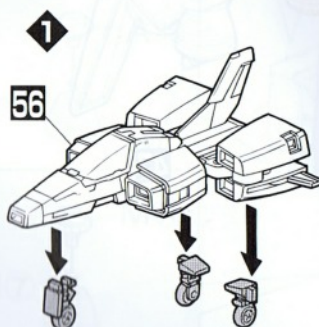
55



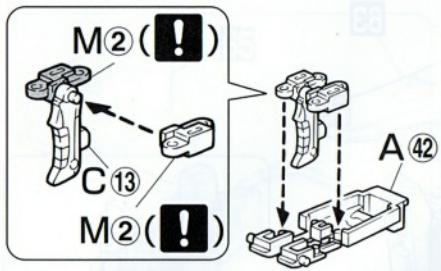
56



57

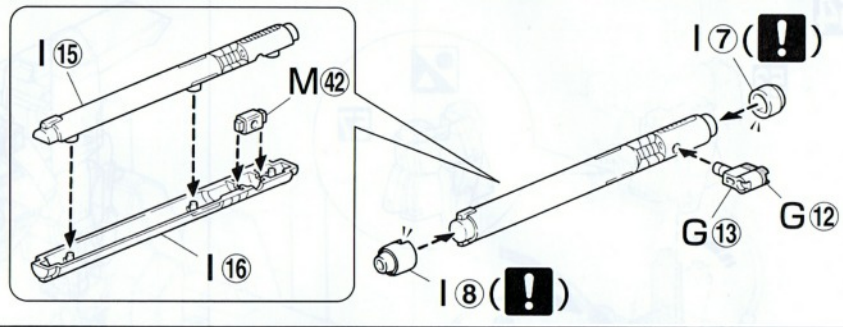


58

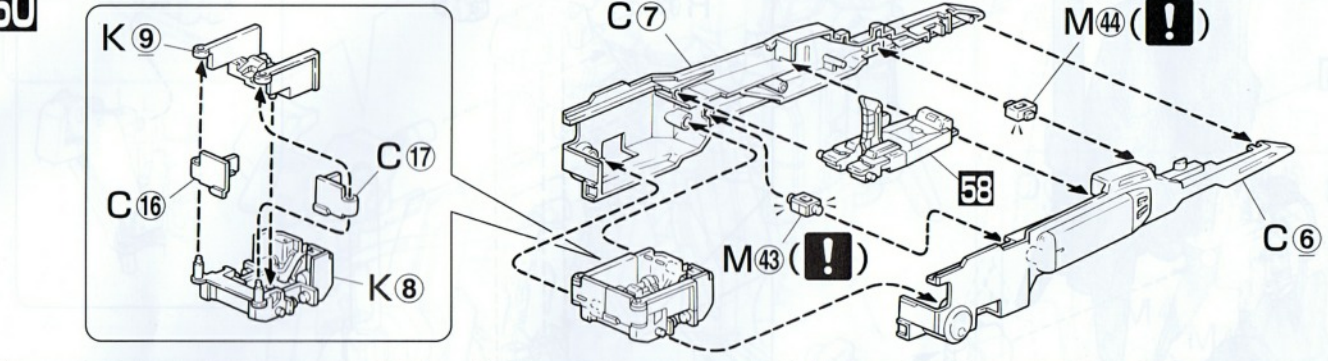


59

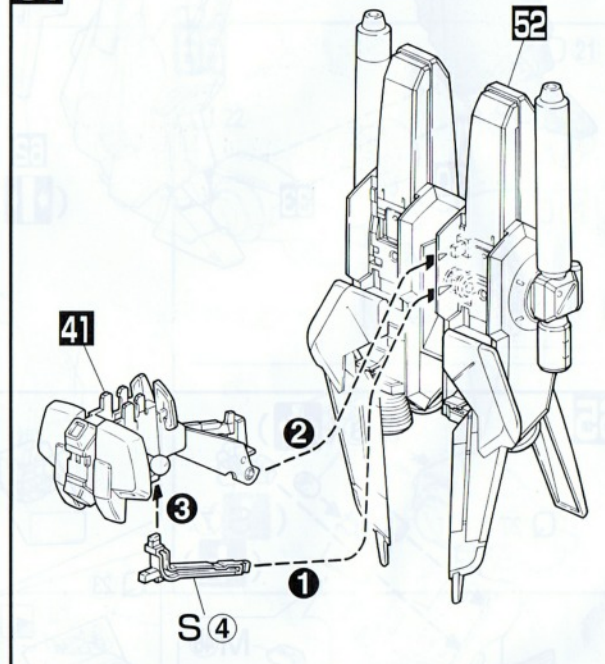
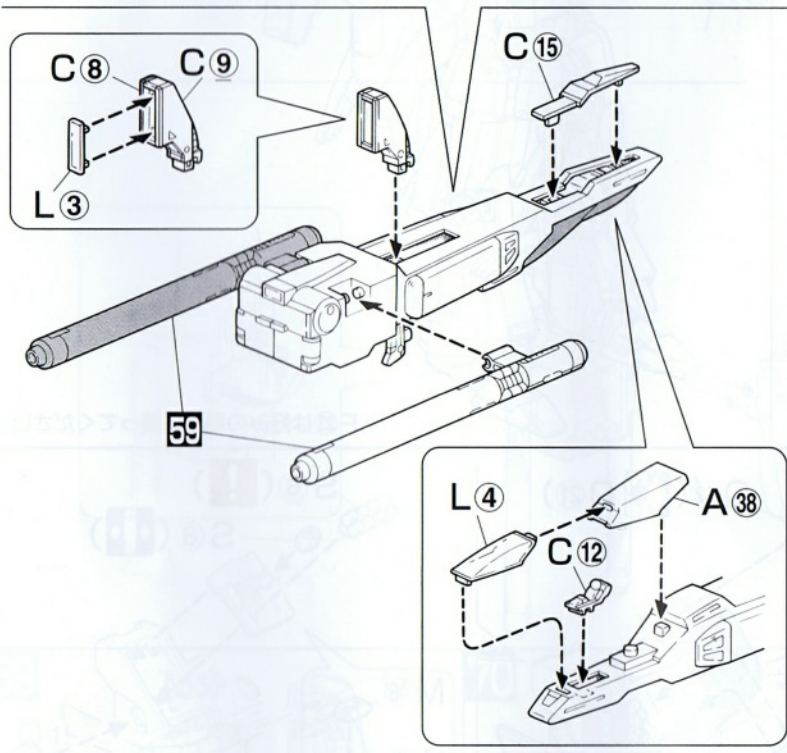
×2



60

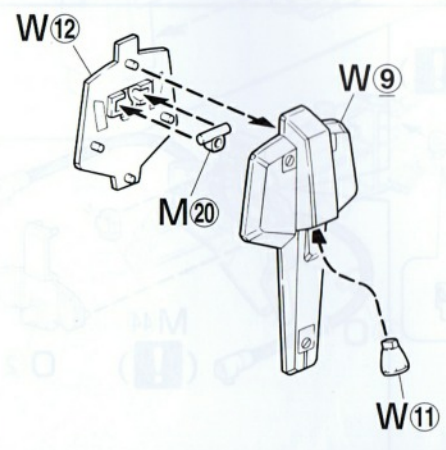


61

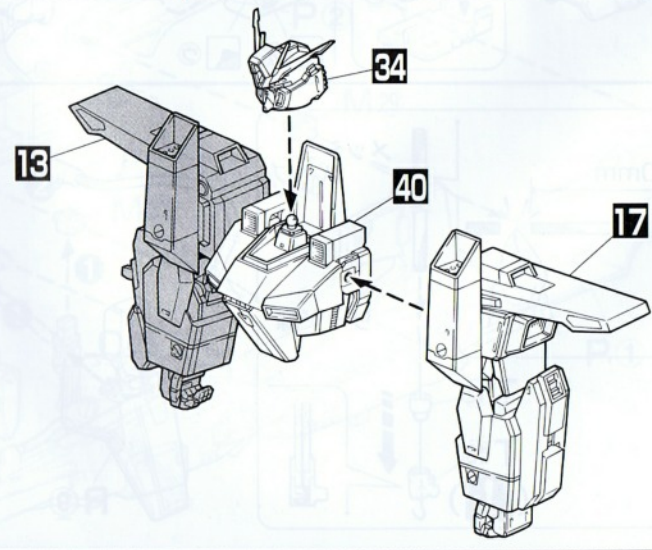


62

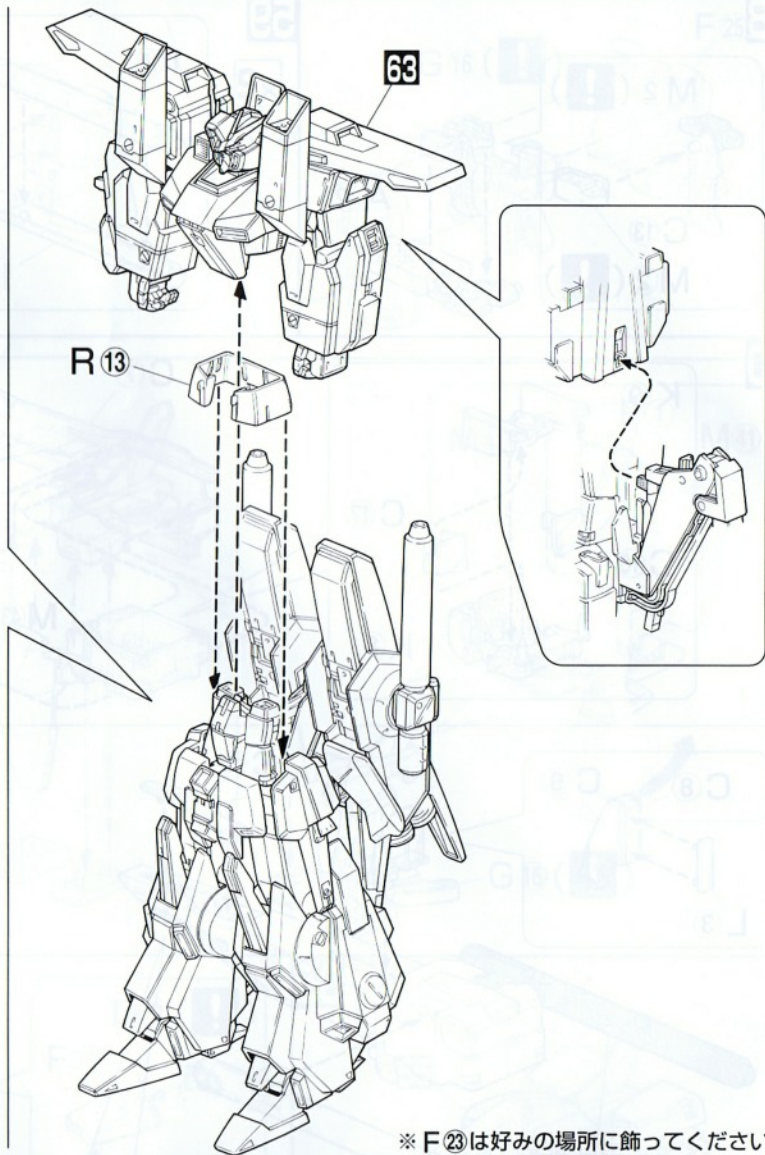
×2



63

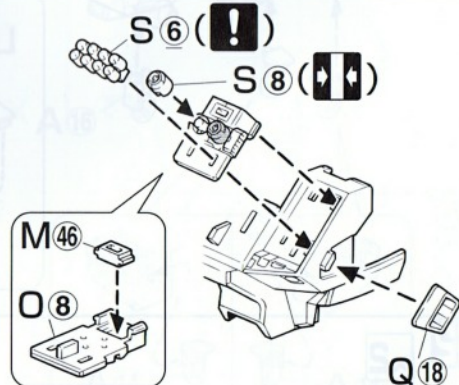
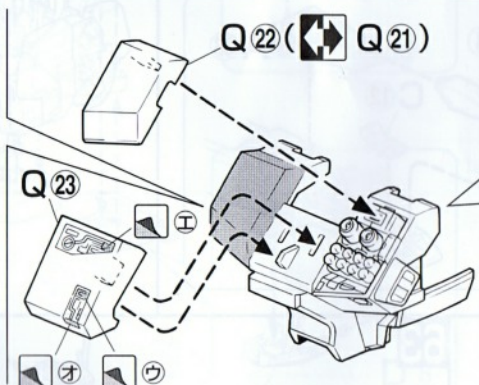
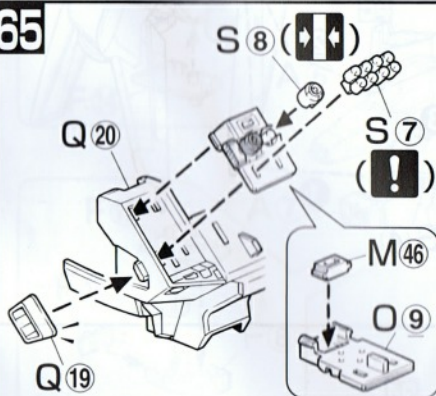


64

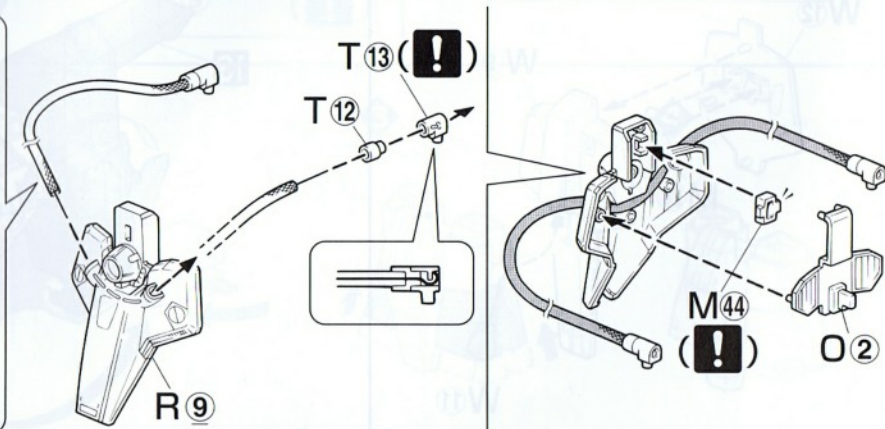
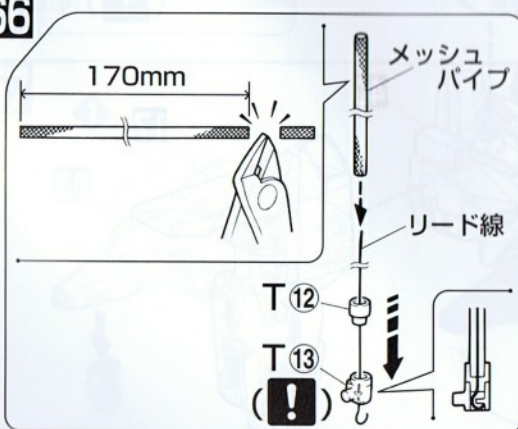


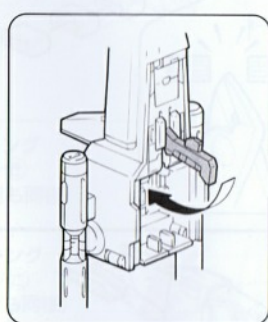
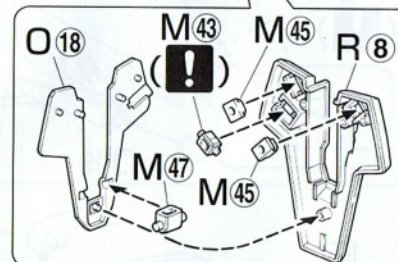
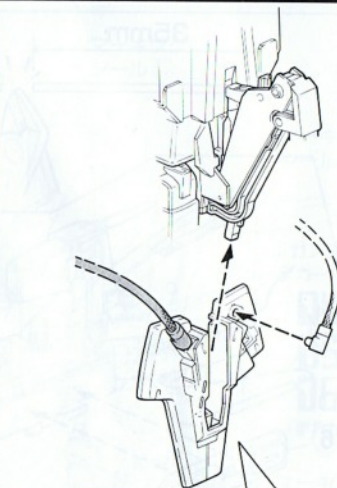
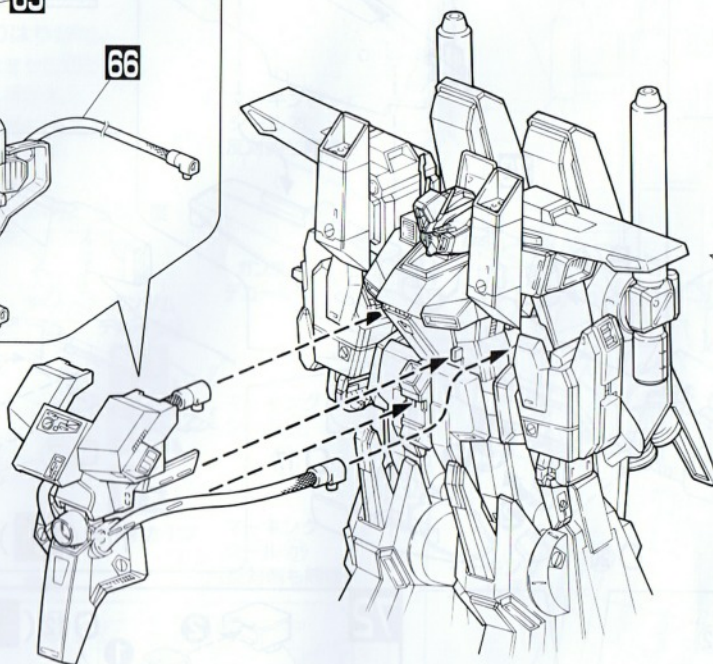
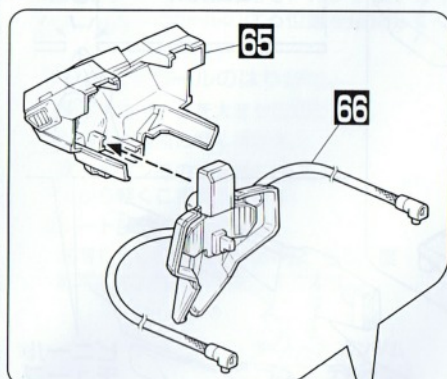
※ F 23 は好みの場所に飾ってください。

65

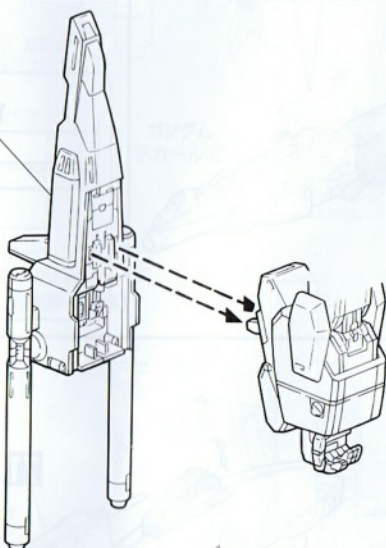


66

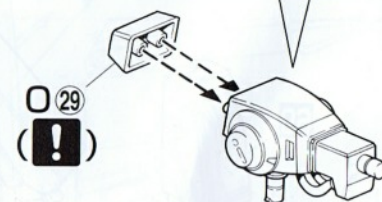
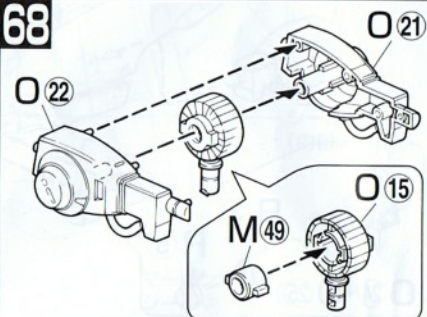




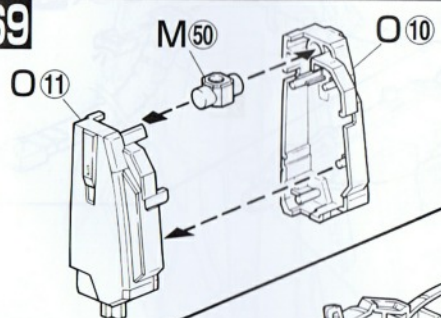
60



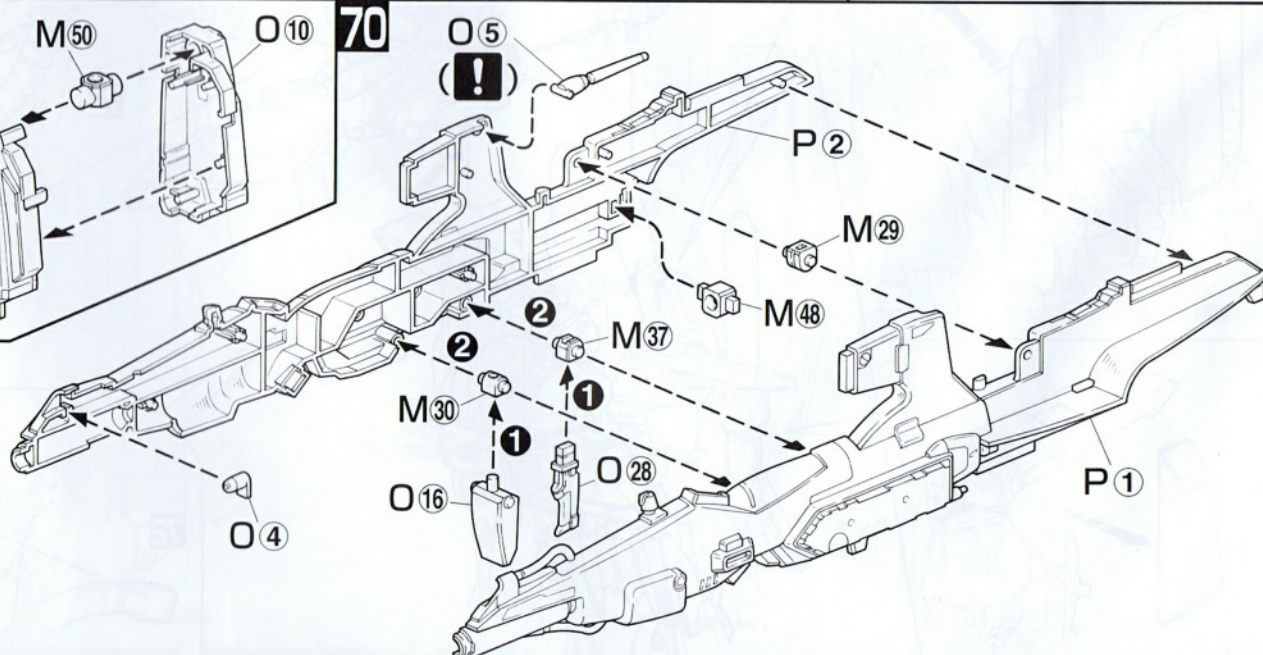
68



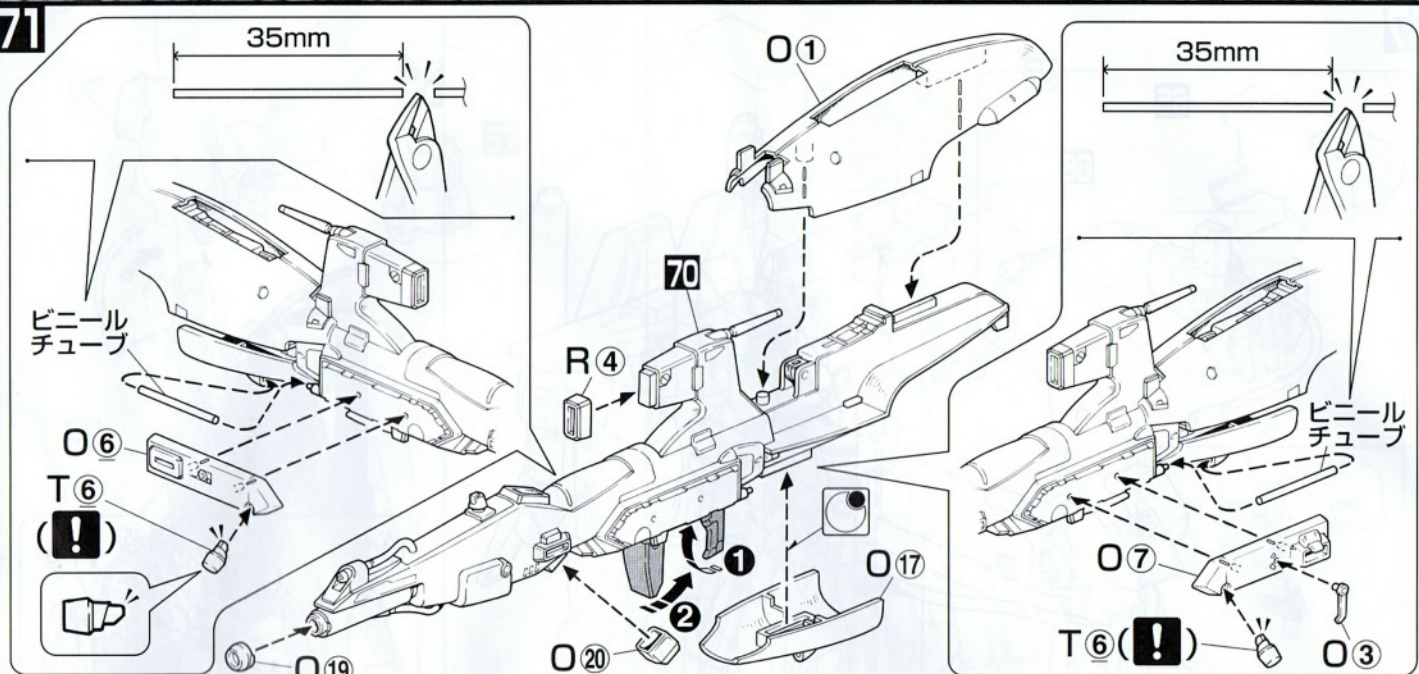
69



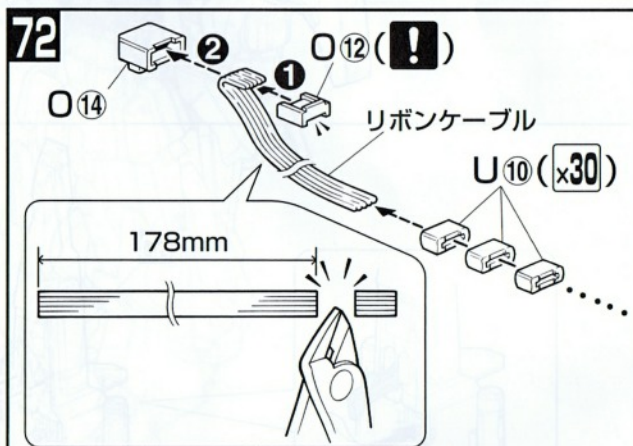
70



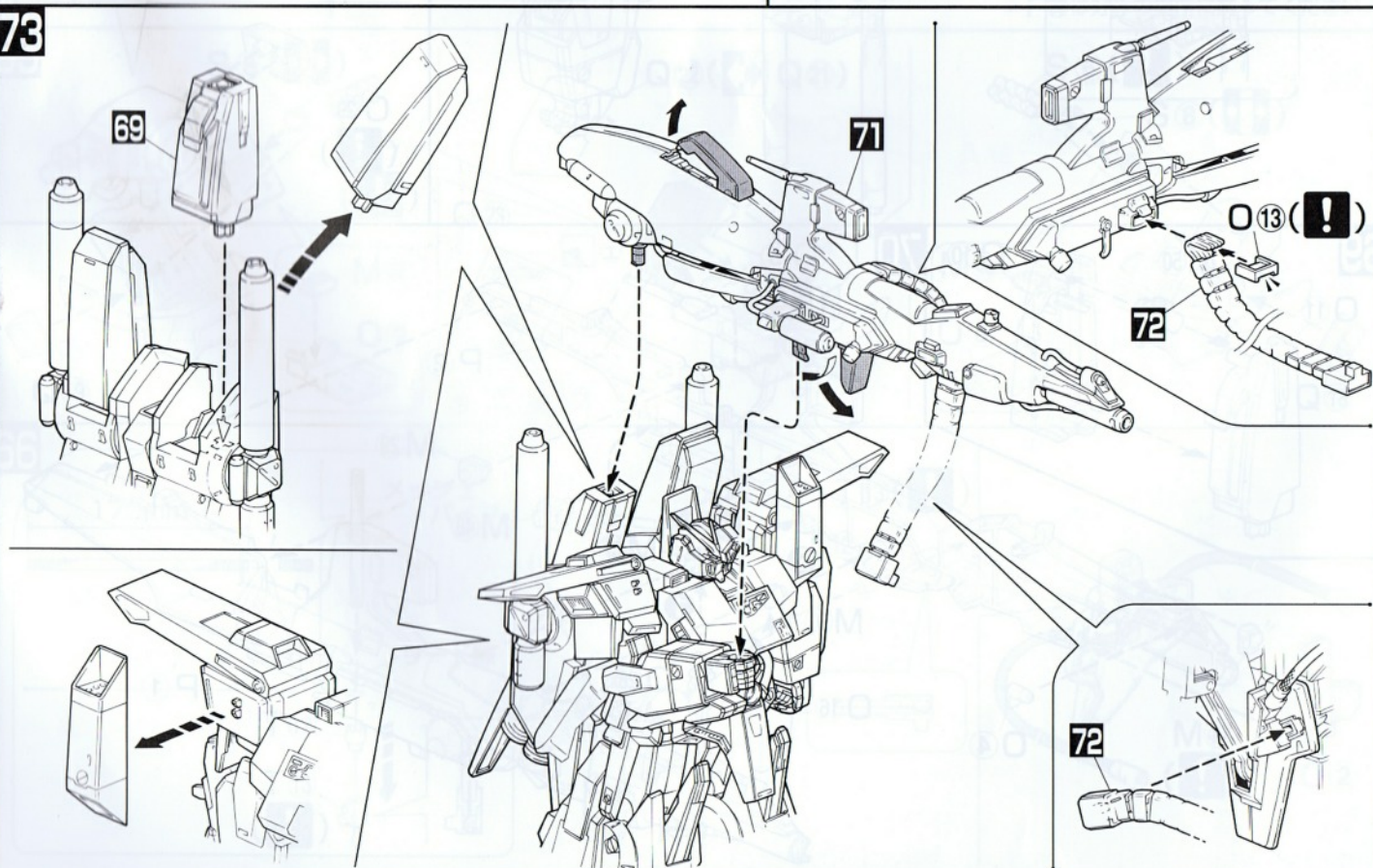
71



72



73



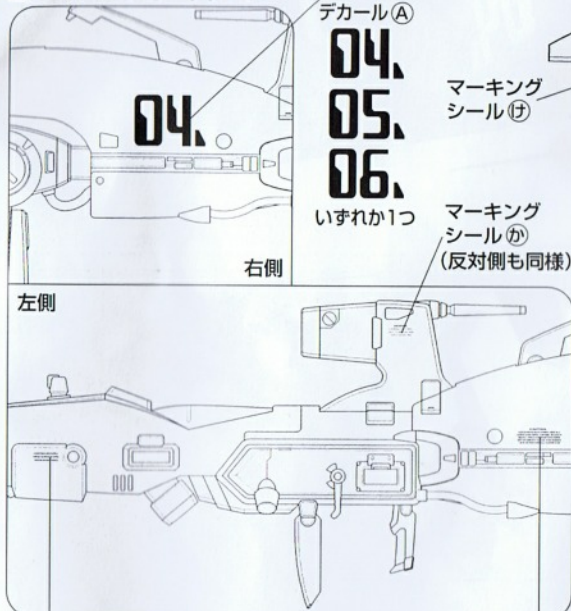
Seal (シール)

下の図を見て、ガンダムデカールやシールのはり位置を確認してください。

ガンダムデカールのはりかた。

- 1.転写するマークをだまかに切ります。
- 2.転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
- 3.シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

■ハイパー・メガ・キャノン



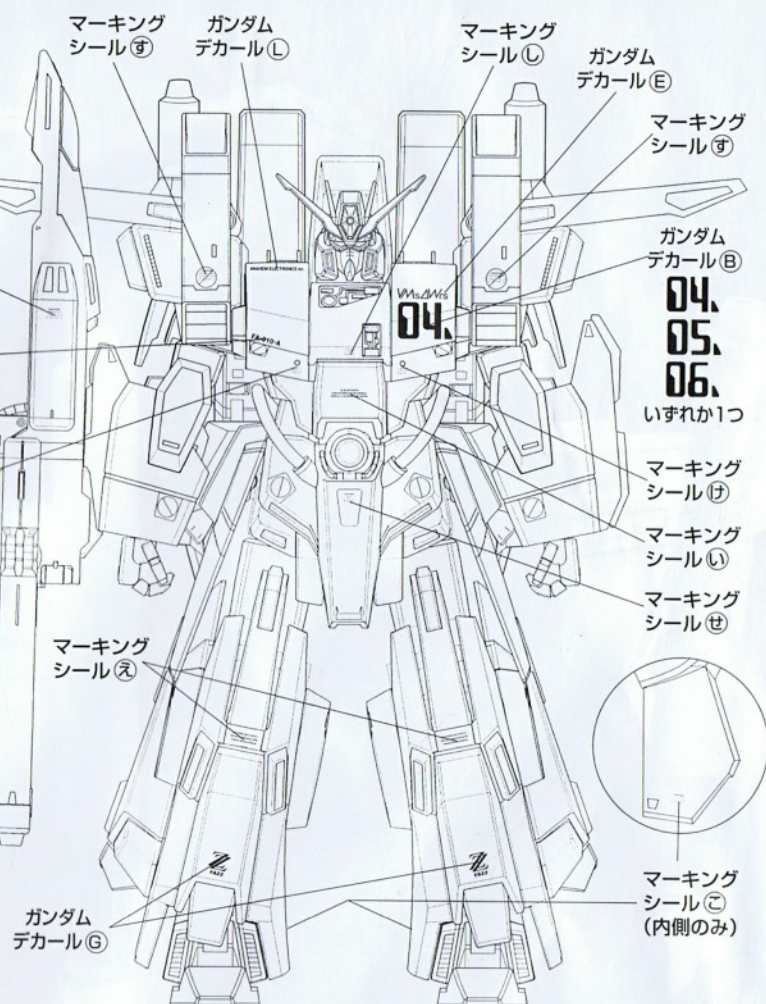
マーキングシール(キ)
(反対側も同様)

マーキングシール(ク)
(反対側も同様)

マーキングシール(ケ)
(反対側も同様)

マーキングシール(コ)
(反対側も同様)

マーキングシール(ク)
(反対側も同様)



マーキングシール(コ)
(内側のみ)

マーキングシール(ホ)
(右側も同様)

マーキングシール(ソ)
(反対側も同様)

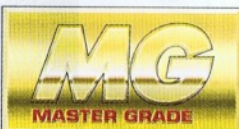
マーキングシール(タ)
(左側も同様)

マーキングシール(チ)

※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所にはってください。



協力：ホビージャパン



地球連邦軍
試作モビルスーツ
FA-010-A「ファッツ」
1/100 スケール マスターグレードモデル

FA-010-A FAZZ
E.F.S.F. PROTOTYPE MOBILE SUIT